

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市東深津町二丁目5番1号に位置し、福山市道東深津27号線に接しています。

工事期間中、2026年7月18日（土）から8月24日（月）は夏休みです。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、児童が登校しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することがあります。

2 別途工事

- ・電気設備工事
- ・給排水衛生設備工事

3 留意事項

- (1) 8月25日（火）から2学期が開始するため、それまでに2階便所の改修工事を完了させ、使用可能な状態にしてください。なお、部分使用検査の期間を見込んでください。

また、放課後児童クラブの児童利用経路等に支障がないよう、必要な対応をお願いします。

- (2) 工事期間中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (3) 校舎等の使用状況により、施工方法及び内容に変更が生じる場合があります。
- (4) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、児童、第三者への安全確保及び立入り禁止の対策を講じてください。

なお、粉じんが発生する作業は、作業時間に制限があるため別途施設管理者と協議が必要です。

- (5) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議のうえ決定してください。また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- (6) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令、建設副産物適正処理推進要綱に従い、適切に処理してください。なお、再資源化を図る資材は、「コンクリート塊、建設混合廃棄物」です。

4 一般留意事項

- (1) 工事にあたっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等にあたっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。

- (3) 資材の搬出入時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路にかかる維持管理は、受注者で行ってください。
- (4) 工事に係る留意事項は、下請負業者及び資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (5) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (6) 工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (7) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。また、仮囲い等については、設計図書等をもとに確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設、一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (8) 本工事場所の進入口、通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (9) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工計画書等についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ない、手続きを行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。
- (15) 受注者は、工事实績情報システム（コリンズ）への登録内容をあらかじめ監督員の承諾を受け、次表の期間内に登録申請をしてください。


請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

- (16) 本工事は、インターネットを利用して発注者及び受注者の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事です。本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払ってください。運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び情報共有システム利用手引（建築工事）」を参照してください。

本工事は、発注者指定型のため、共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいます。受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができます。

福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事

図 面 目 録			
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
1	建築改修工事特記仕様書 No-1	1 3	鉄筋工事仕様書 No. 1
2	建築改修工事特記仕様書 No-2	1 4	鉄筋工事仕様書 No. 2
3	建築改修工事特記仕様書 No-3	1 5	工事区分表
4	建築改修工事特記仕様書 No-4	1 6	敷地案内図・配置図・1階平面図
5	建築改修工事特記仕様書 No-5	1 7	2～4階平面図
6	建築改修工事特記仕様書 No-6	1 8	1階平面詳細図（改修前・改修後）・仕上表
7	建築改修工事特記仕様書 No-7	1 9	2～4階平面詳細図（改修前・改修後）
8	建築改修工事特記仕様書 No-8	2 0	天井伏図（改修前・改修後）・展開図
9	建築工事特記仕様書 No-1	2 1	建具配置図・建具表（改修前・改修後）
1 0	建築工事特記仕様書 No-2	2 2	部分詳細図
1 1	建築工事特記仕様書 No-3		
1 2	建築工事特記仕様書 No-4		

工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事			
図面名称 表紙・図面目録		尺度 図示	
	福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
		A1=100%	/
		A2= 71%	
		A3= 50%	

4	項目	特記事項	[1. 6. 2][1. 6. 3]
		・ 外壁改修範囲 ・ 図示による	
4-1	項目	特記事項	[4. 1. 4][4. 2. 5 ~ 7]
		・ 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入状況の確認方法 ※ コアの採取を行う ※ コアの採取方法 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ 採取部の補修方法 ※ 図示による ・ リカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パネ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ 欠損部改修工法 ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル	[4. 1. 4][4. 1. 4. 7]

4	項目	特記事項	[4. 1. 4][4. 3. 5][4. 3. 11, 16]
		・ 浮き部改修工法	
4-3	項目	特記事項	[4. 1. 4][4. 4. 5][4. 4. 8]
		・ タイルの形状、寸法等 ・ ひび割れ部改修工法 ・ 欠損部改修工法	

4	項目	特記事項	[4. 1. 4][4. 4. 5, 9 ~ 15]
		・ 浮き部改修工法	
4-4	項目	特記事項	[4. 1. 4][4. 4. 16]
		・ 目地改修工法 ・ 目地調整工法 ・ 目地調整工法 ・ 目地調整工法 ・ 目地調整工法	

4	項目	特記事項	[4. 1. 5][4. 7. 2, 3]
		・ 外壁用塗膜 防水材塗り	
4-2	項目	特記事項	[5. 1. 3]
		・ 改修工法	

4-2	項目	特記事項	[4. 1. 4][4. 3. 5 ~ 8]
		・ ひび割れ部改修工法 ・ 欠損部改修工法	

4-3	項目	特記事項	[4. 1. 4][4. 4. 5, 6]
		・ ひび割れ部改修工法 ・ 欠損部改修工法	

4-4	項目	特記事項	[4. 5. 4]
		・ 既存塗膜等の除去 下地処理及び下地調整 ・ 目地調整工法 ・ 目地調整工法 ・ 目地調整工法	

4-2	項目	特記事項	[5. 1. 4]
		・ 防火戸	
4-2	項目	特記事項	[5. 1. 5]
		・ 見本の製作等	
4-2	項目	特記事項	[5. 1. 7]
		・ 防犯建物部品	


工事名称
福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-3

図示
縮尺率 図面No
A1=100%
A2= 71%
A3= 50%

3/22

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項									
○	アルミニウム製 製建具	性能値等 [5.2.2~5] 耐風圧性の等級 (○ S-5) (建具符号 ○ 建具表による) 気密性の等級 (○ A-4) (建具符号 ○ 建具表による) 水密性の等級 (○ W-5) (建具符号 ○ 建具表による) 外部に面する建具の種類 ・ A種 (建具符号 ・ 建具表による) ・ B種 (建具符号 ・ 建具表による) ・ C種 (建具符号 ・ 建具表による) 枠の見込み寸法 (○ 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 ○ BB-1 ・ BB-2 (改修標準仕様書表 5.2.2) 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 屋内の建具 種類 ○ BC-1 ・ BC-2 (改修標準仕様書表 5.2.2) 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 結露水の処理方法 ・ 水貯め式 ・ 排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による	○	鋼製建具	性能値等 [5.4.2~6] 簡易気密型ドアセット ○ 適用する (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 点検口 ・ 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5.4.2による ・ mm 使用箇所 () 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による ・ 性能値等 [5.5.2~6] 簡易気密型ドアセット ○ 適用する (建具符号: ・ 建具表による) ○ 適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 材料 鋼板 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※ 鋼板 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 防音充填剤 ・ 適用する (充填材: グラスウール又はロックウール) ・ 適用しない 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5.5.1による ・ mm 使用箇所 () 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※ 建具表による ・ 性能値等 [5.6.2~5] 簡易気密型ドアセット ○ 適用する (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ	・	木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2~4] ※ A種 ・ ・ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 改修標準仕様書 5.7.2 (2) (イ) (a) による 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・ 普通合板 ・ 表面の樹種 ・ 板面の品質 (※ 広葉樹 1等) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ 天然木化粧合板 ・ 樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ 特殊加工化粧合板 ・ 化粧加工の方法 ※ プリント ・ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ MDF ・ 表面板の厚さ ※ 表 5.7.6 による ・ ・ かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※ 36mm ・ 建具表による ・ ふすま 張り (I型 ・ II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 建具表による ・ 戸ふすま 表面板の仕上 ・ 建具表による 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 枠、くつずりの材料 ・ 建具表による 定規模 (引戸) の召合せかまち ・ いんろう付き ・ ・ 建具用金物 金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5.8.2~3] ※ 改修標準仕様書表 5.8.1 により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5.8.2 による ・ 建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5.8.3 による ・ 建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5.8.4 による ・ 建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※ 改修標準仕様書表 5.8.5 による ・ 建具表による 釦り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・ 建具表による ・ ・ 鍵 マスターキー [5.8.4] ・ 製作する ・ 製作しない ・ 既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※ 各室3本1組 (室名札付き) ※ ・ 鍵箱 ・ なし ・ あり	・	自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 [5.9.2] ・ 建具表による ・ 引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.1 による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・ 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.2 による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・ 引き戸用検出装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.3 による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 放射無線周波数電磁界耐性 () 耐電圧 () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸検出装置の種類は改修標準仕様書表 5.9.4 により、適用箇所は建具表による タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便所スイッチの種類 ・ 大型押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない	・	自閉式上吊り引戸 装置	性能値等 [5.10.3] ※ 改修標準仕様書表 5.10.1 による ・ 以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 開閉速度 () 耐衝撃性 ()	・	重量シャッター	シャッターの種類 [5.11.2] ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 設置箇所 (・ 図示 ・) 電動式シャッターの障害物感知装置 設置箇所 (・ 図示 ・) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (※ 危害防止装置・既設シャッターに改修により取り付ける可動産板式) 設置箇所 (・ 図示 ・) 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ ・ 軽量シャッター 開閉方式の種類 [5.12.2~4] ※ 手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () Pa 安全装置 ・ 電動シャッターの急降下停止装置 設置箇所 (・ 建具表による) ※ 電動シャッターの障害物感知装置 設置箇所 (・ 図示 ・) スラットの材質 ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 (※ Z06又はF06) ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっきの付着量 (※ AZ90) スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形			
○	網戸等	[5.2.3][5.3.3] 種類 材質 線径 網目 ・ 防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 ・ 防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 1.5mm 網目寸法15mm	○	鋼製軽量建具	性能値等 [5.5.2~6] 簡易気密型ドアセット ○ 適用する (建具符号: ・ 建具表による) ○ 適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 材料 鋼板 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※ 鋼板 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 防音充填剤 ・ 適用する (充填材: グラスウール又はロックウール) ・ 適用しない 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5.5.1による ・ mm 使用箇所 () 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※ 建具表による ・ 性能値等 [5.6.2~5] 簡易気密型ドアセット ○ 適用する (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ	○	ステンレス製建具	性能値等 [5.6.2~5] 簡易気密型ドアセット ○ 適用する (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ	・	木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2~4] ※ A種 ・ ・ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 改修標準仕様書 5.7.2 (2) (イ) (a) による 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・ 普通合板 ・ 表面の樹種 ・ 板面の品質 (※ 広葉樹 1等) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ 天然木化粧合板 ・ 樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ 特殊加工化粧合板 ・ 化粧加工の方法 ※ プリント ・ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ MDF ・ 表面板の厚さ ※ 表 5.7.6 による ・ ・ かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※ 36mm ・ 建具表による ・ ふすま 張り (I型 ・ II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 建具表による ・ 戸ふすま 表面板の仕上 ・ 建具表による 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 枠、くつずりの材料 ・ 建具表による 定規模 (引戸) の召合せかまち ・ いんろう付き ・ ・ 建具用金物 金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5.8.2~3] ※ 改修標準仕様書表 5.8.1 により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5.8.2 による ・ 建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5.8.3 による ・ 建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5.8.4 による ・ 建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※ 改修標準仕様書表 5.8.5 による ・ 建具表による 釦り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・ 建具表による ・ ・ 鍵 マスターキー [5.8.4] ・ 製作する ・ 製作しない ・ 既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※ 各室3本1組 (室名札付き) ※ ・ 鍵箱 ・ なし ・ あり	・	自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 [5.9.2] ・ 建具表による ・ 引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.1 による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・ 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.2 による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・ 引き戸用検出装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.3 による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 放射無線周波数電磁界耐性 () 耐電圧 () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸検出装置の種類は改修標準仕様書表 5.9.4 により、適用箇所は建具表による タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便所スイッチの種類 ・ 大型押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない	・	自閉式上吊り引戸 装置	性能値等 [5.10.3] ※ 改修標準仕様書表 5.10.1 による ・ 以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 開閉速度 () 耐衝撃性 ()	・	重量シャッター	シャッターの種類 [5.11.2] ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 設置箇所 (・ 図示 ・) 電動式シャッターの障害物感知装置 設置箇所 (・ 図示 ・) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (※ 危害防止装置・既設シャッターに改修により取り付ける可動産板式) 設置箇所 (・ 図示 ・) 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ ・ 軽量シャッター 開閉方式の種類 [5.12.2~4] ※ 手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () Pa 安全装置 ・ 電動シャッターの急降下停止装置 設置箇所 (・ 建具表による) ※ 電動シャッターの障害物感知装置 設置箇所 (・ 図示 ・) スラットの材質 ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 (※ Z06又はF06) ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっきの付着量 (※ AZ90) スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形

工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事		尺度
図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-4		図示
	縮尺率	図面No
	A1=100%	4
	A2= 71%	
	A3= 50%	22

章	項目	特記事項
①	オーバーヘッド ドア	[5. 13. 2.、 3] セクション材料による区分 ※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバークラスタイプ 耐風圧性能の区分 ・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 開閉方式による区分 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 ガイドレールの材質 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 設置箇所 (・ 図示 ・)
	ガラス	[3. 7] [5. 14. 2 ~ 4] フロント板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による ○ 型板ガラスの厚さによる種類 ○ 建具表による ・ 網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状況及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による ・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ、特性による種類 ・ 建具表による ○ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類 ○ 建具表による ・ 熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ・ 建具表による ・ 複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性、日射遮蔽性による区分及び射入気体の種類 ・ 建具表による ・ 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射遮蔽性による種類 ・ 建具表による ・ 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による ○ ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ○ シーリング材 ・ グレージングガスケット ※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による 鋼製及び鋼製軽量 ○ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による ステンレス製 ・ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による 樹脂製 ・ グレージングガスケット ※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による 小口加工の仕上げの程度 (・)
②	ガラスブロック	[5. 14. 5] 表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地幅 (mm) 平積み 曲面積み 伸縮調整 目地の位置 防火性能 壁用金属枠及び補強材 形状 ・ 図示による 力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) ・ 寸法 ※ 径 5.5mm 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色 (・ 白 ・ グレー) シーリングの種類 (・ SR-1 ・ PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ・ 図示による 形状 ・ 図示による 目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による

章	項目	特記事項
③	改修範囲	[6. 1. 3] 既存開仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示による
	既存床の撤去及び 下地補修	[6. 2. 2] ビニルシート等の撤去 ○ 仕上材のみ (接着剤とも) 2~4間(4) ○ 下地モルタルとも (・ 図示による ・ 撤去範囲全て ○ 1間土間とも) 合成樹脂塗料の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目尻工法 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示による
④	既存壁の撤去及び 下地補修	[6. 3. 2] 開仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 改修標準仕様書 4. 3. 10によるモルタル塗り (塗厚25mmを超える場合の処理 ※ 図示による)
	表面仕上げ (木下地)	[6. 5. 1] 見え掛り面の表面仕上げ ※ プレーナー加工 (施工箇所:) ・ 超自動機械かな (施工箇所:) ・ サンダー (施工箇所:)
⑤	施工一般 (木下地)	[6. 5. 2] 材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は改修標準仕様書 6. 5. 2 (1) (ウ) (b) による
	製材 (木下地)	[6. 5. 2] ・ JAS 1083-5に基づく下地用製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※ 2級 ※ A種 ・ B種 見え掛り面 ※ 上小節 ※ A種 ・ B種 見え掛り面以外 ※ 小節以上 ※ A種 ・ B種
⑥	造作用集材 (木下地)	[6. 5. 2] ・ JAS 1083-2に基づく造作用製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 見え掛り面 ※ 上小節 ※ A種 ・ B種 見え掛り面以外 ※ 小節以上 ※ A種 ・ B種 ・ JAS 1083-6に基づく広葉樹製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※ 1等 ※ 10%以下 ・ A種 ・ B種 ・ JAS 1083 (製材) 以外の製材 施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 含水率 防虫処理 (・) ※ A種 造作材の場合 ※ B種 (※ A種 ・ B種) ・ ・ 行う ・ 行わない
	造作用集材 (木下地)	[6. 5. 2] ・ JAS 1152Iに基づく造作用集材 (品名) 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 (面数) 見付け材面の品質 ・ 造作用集材 ※ 1等 ・ 造作用集材 (塗装) 1等 ※ 2等 ・ 造作用集材 () 1等 ・ JAS 1152Iに基づく化粧ばり造作用集材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 (面数) 見付け材面の品質 化粧薄板: ※ 1等 芯材: ※ 2等 ・ JAS 1152以外の造作用集材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 ※ 15%以下 ・ ・ JAS 1152以外の化粧ばり造作用集材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 化粧薄板: ※ 15%以下 芯材: ・

章	項目	特記事項
⑦	造作用単板積層材 (木下地)	[6. 5. 2] ・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 (表面の化粧加工) 防虫処理 ・ 造作用単板積層材 (未仕上げ) ・ 有り ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工 ・ 無し ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等 ・ JAS 0701以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 (表面の化粧加工) 含水率 防虫処理 ・ 有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ※ 14%以下 ・ 無し (等級 ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等) ・ 行 ・ 行わない
	合板等 (木下地)	[6. 5. 2] ・ JAS 0233に基づく普通合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 板面の品質 単板の樹種名 防虫処理 ※ 5.5 ※ 1類 広葉樹 ※ 2等以上 ・ 1等 ・ 2類 針葉樹 ※ C-D以上 ・ 行 ・ 行わない ・ JAS 0233に基づく構造用合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 等級 板面の品質 単板の樹種名 保存処理 防虫処理 強度等級 ※ 12 (下記) ※ 2級以上 ※ C-D以上 ・ 1級 ・ 行 ・ 行わない ・ 指定 ・ 指定しない 接着の程度 常時湿潤状態となる場所での使用 ※特類 その他の場合 ※1類以上 ・ ・ JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 常時湿潤状態となる場所での使用 ・ 行 ・ 行わない (・ 特類 ・ 1類 ・) ・ JAS 0233に基づく天然木化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 常時湿潤状態となる場所での使用 ・ 行 ・ 行わない (・ 特類 ・ 1類 ・) ・ JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ・ 1類 ・ 2類 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・ 行 ・ 行わない ・ JIS A 5908に基づくパーティクルボード 施工箇所 種類 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 厚さ (mm) ※ 13タイプ ・ Mタイプ ・ Pタイプ ・ ※ 15 ・ ・ JAS 0360に基づく構造用パネル (品名) 施工箇所 厚さ (mm) ・ JIS A 5905に基づくMDF 施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分

章	項目	特記事項
⑧	接合具等 (木下地)	[6. 5. 3] 造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘埋め木 ・ つぶし釘打ち ・ 釘頭隠し 諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい ※ 改修標準仕様書表 6. 5. 3に示す程度の市販品 ・ 産金 ※ 改修標準仕様書表 6. 5. 4に示す程度の市販品 ・ 箱金物及び短冊金物 ※ 改修標準仕様書表 6. 5. 5に示す程度の市販品 ・
	接着剤 (木下地)	[6. 5. 3. 4] 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
⑨	防虫・防蟻処理 (木下地)	[6. 5. 5] ・ 工場における薬剤の加圧注入等 ・ 改修標準仕様書 6. 5. 5 (1) (a) ①による加圧注入 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ 薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ※ 薬剤の製造所の仕様による ・ ・ ・ ・ 薬剤の接着材への混入による防虫・防蟻処理 適用部位 () ・ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 () ・ 防虫処理の適用 適用部位 ()
	不燃処理木材等 (木下地)	[6. 5. 5] ・ 不燃材料処理木材等の適用 不燃材料 適用部位 () 準不燃材料 適用部位 () 難燃材料 適用部位 ()
⑩	内部開仕切軸組 及び床組み (木下地)	[6. 5. 6] ・ 開仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松 ・ 床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松
	窓、出入口その他 (木下地)	[6. 5. 7] ・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 吊元種、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
⑪	床板張り (木下地)	[6. 5. 8] ・ 縁甲板及び上がりがまに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ ひのき
	壁及び天井下地 (木下地)	[6. 5. 9] ・ 壁及び天井下地に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉または松
⑫	軽量鉄骨天井下地	[6. 6. 2 ~ 4] 野縁等の種類 屋外 ※ 25形 ・ 19形 屋内 ※ 19形 ・ 25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔 ・ 図示による 周辺部の埋からの間隔 ・ 図示による 野縁の間隔 ・ 図示による 既存の埋込みビーンサート ○ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (試験箇所数 ※ 屋内の場合、当該間において3箇所 かつ) 所 (確認強度 ※ 吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400mm程度 N) ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※ 図示による) ・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 (補強方法 ※ 図示による) ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※ 図示による) (補強方法 ※ 図示による) ・ 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 (補強箇所 ※ 図示による) (補強方法 ※ 図示による)


工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎併設改修工事		尺度 図示
図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-5		図面No 5
 福山市建設局建築部営繕課		A1=100% A2= 71% A3= 50%

Table with columns for item name, special notes, and detailed specifications. Items include: 軽量鉄骨壁下地, ビニル床シート, ビニル床タイル, 特殊機能床材, ビニル幅木, ゴム床タイル, 接着剤, カーペット敷き.

Table with columns for item name, special notes, and detailed specifications. Items include: タイルカーペット, 合成樹脂塗床, フローリング張り, タフテッドカーペット.

Table with columns for item name, special notes, and detailed specifications. Items include: セッコウボード、その他ボード、合板, 壁紙張り.

Table with columns for item name, special notes, and detailed specifications. Items include: モルタル塗り, タイル張り, セルフレベリング材, 材料, 下地調整.

Project information block including: 工事名称 (福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事), 図面No (6), 図示 (A1=100%, A2=71%, A3=50%).

章	項目	特記事項	
○ 素地ごしらえ	[7.3.2~7.3.7]		
	下地面等	種別	
	木部	不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種	
	鉄鋼面 (DP以外)	※ C種 ・ A種 ・ B種	
	鉄鋼面 (DP)	※ B種 ・ A種 ・ C種	
	亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種	
	モルタル面及びプラスター面	※ B種 ・ A種	
	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※ B種 ・ A種	
	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	※ B種 ・ A種	
	せっこうボード面及びその他ボード面	※ B種 ・ A種	
・ 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2~7.4.3]		
	素地面	塗装の種類 塗料の種類 工程の種別	
	鉄鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.3)	塗替え ※ C種 新規見え掛り ※ A種 新規見え隠れ ※ A種
		EP-G (工程の種別は表7.4.3)	塗替え ※ B種 ・ A種 新規見え掛り ※ B種 ・ A種 新規見え隠れ ※ B種 ・ A種
		DP (工程の種別は表7.4.4)	塗替え 7.4.2(1)(イ) ・ B種 (地下調整R種) 新規 (b)による。 ・ C種 (地下調整R種) 7.4.2(1)(イ) ・ A種 (a)による。
		亜鉛めっき鋼面	塗替え ※ C種 新規 ※ B種
	亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.5)	鋼製建具等 ※ A種 ・ B種 規 其他 ※ B種
		EP-G (工程の種別は表7.4.5)	鋼製建具等 ※ A種 ・ B種 規 其他 ※ B種
		DP (工程の種別は表7.4.6)	塗替え ※ B種 新規 ※ B種
		新規	塗替え ※ B種 新規 ※ B種
○ 塗装	[7.5.2~7.13.2]		
	塗装の種類	塗装面 塗替え 新規	
	○ 合成樹脂塗料ベイント塗り (SOP)	木部屋外 ※ B種 木部屋内 ※ B種	
	塗装の種類 ※ 1種	鉄鋼面 ※ B種 亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外) ※ B種	
	・ 2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外) ※ B種	
	・ クリヤラッカー塗り (GL)	※ B種 ・ A種 (着色塗料の種類:)	
	・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	※ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種	
	・ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 () 級	—
		亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 () 級	—
	・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	・ B種 ・ C種 ・ A種 ・ B種
屋内の木部		※ B種 ・ ※ A種	
・ 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※ B種 ・ ・ A種 ・ B種	
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※ B種 ・ ※ A種 ・ B種	
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※ B種 ・ ※ B種 ・ A種		
・ ビグメントステイン塗り			
・ 木材保護塗料塗り (WP)	※ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種		
つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしめ止め ※ 改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする			
合成樹脂エマルジョンベイント塗りの塗替えの場合のしめ止め ※ 改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする			
クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・ 適用しない ・ 適用する (着色剤: ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)			
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用 ・ 適用する ・ 適用しない			

章	項目	特記事項
・ 鉄筋の継手及び定着	鉄筋の継手の方法等 [8.3.4]	
	部 位	継手方法 呼び径 (mm)
	柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手
	耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手 ・
	その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手 ・
	継手位置	・ 図示による () 柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ ※ 改修標準仕様書 表8.3.2による ・ 図示による () 耐力壁の重ね継手の長さ ※ 改修標準仕様書 8.3.4(3)(ア)による ・ 図示による () ・ 先組工法等で、柱及び梁の主筋のうち隣り合う継手を同一箇所に入れる場合 ・ 図示による () 鉄筋の定着の長さ ※ 改修標準仕様書 表8.3.4による ・ 図示による () 折り曲げ定着の方法 ※ 改修標準仕様書 8.3.4(5)(イ)の図8.3.3による ・ 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 ・ 図示による () 種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定 ・ 帯筋組立の形、継手及び定着 ・ 図示による ()
	鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む)	最小かぶり厚さ ※ 改修標準仕様書 8.3.5(1)による ・ 図示による () 軽量コンクリートを適用する場合 ・ あり 適用箇所 () ・ 改修標準仕様書 表8.3.6の最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm ・ 耐久性上不利な箇所がある場合 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ あり 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm ・
	・ 壁の配筋及び補強	壁の配筋及び壁開口部の補強 ・ 図示による ()
	・ 圧接完了後の圧接部の試験	超音波探傷試験 ※ 行う (全圧接部) ()
	・ 機械式継手	適用箇所 ・ 図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・ A級 種類 ・ 鉄筋相互のあき ・ 図示による () 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※ 全数 試験項目及び合否判定 ※ 改修標準仕様書 表8.4.1~表8.4.3による ・ 評定等の評価内容による ・ 不合格となった場合の措置 ※ 改修標準仕様書 8.4.2(5)(ア) (a)~(c)による ・ 図示による () ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜き取り ロットの大きさ () 試験箇所数: ()箇所/ロット 全数 不合格となった場合の措置 ・ 図示による ()
・ 溶接継手	適用箇所 ・ 図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・ A級 溶接継手の性能、工法 ・ 図示による () 鉄筋相互のあき ・ 図示による () 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※ 全数 試験項目 試験方法 不合格となった場合の措置 ・ 超音波探傷試験 試験対象 ・ 不合格となった場合の措置 ・ 図示による ()	

章	項目	特記事項
8-2 耐震改修工事 (鉄筋工事)	・ コンクリートの種類	コンクリートの種別 [8.1.3]
		※ I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ II類 (I類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート) 建築基準法第37条第2号の規定に基づき国土交通大臣の認定を受けたコンクリート 適用箇所 ()
	・ コンクリートの品質、調合	・ 普通コンクリート [8.1.4][8.2.5][8.9.2]
		設計基準強度 (N/mm ²) スラブ (cm) 気乾単位容積質量 (t/m ³) 適用箇所
	・ セメント	種 類 [8.2.5]
		※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 () ・ 高炉セメントB種 適用箇所 () ・ フライアッシュセメントB種 適用箇所 ()
	・ 骨材	フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ骨材及び電気炉融骨材 [8.2.5]
		普通エコセメントを使用するコンクリートの骨材 ・ 再生骨材Hを使用する アルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B
	・ 混和材料	・ 混和剤 [8.2.5]
		混和剤の種類 ※ 改修標準仕様書 8.2.5(4)(ア)による ・ 混和材 混和材の種類 ※ 改修標準仕様書 8.2.5(4)(イ)による 改修標準仕様書 8.2.5(5)(イ)(f)④の①~③以外の混和材料 ・ 混和剤 () ・ 混和材 () 使用方法 使用量
・ 構造体用モルタル	構造体用モルタル 圧縮強度 () フロー値 () [8.2.6]	
・ 暑中コンクリート	スラブ ※ 21m 構造体強度補正値 ※ 改修標準仕様書 表8.10による [8.10.2]	
・ 無筋コンクリート	コンクリートの種類 [8.11.1] ※ 普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/mm ² スラブ ※ 15cm又は18cm 適用箇所 ・ 図示による () 改修標準仕様書 表8.1.1以外のコンクリートを用いる場合 ()	
・ 構造体コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4]	
・ 型枠の材料	せき板の材料及び厚さ [8.2.7]	
	・ 合板 (※ 12mm) ・ スリーブの材質・規格等 ・ 図示による ()	
・ 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	打増し厚さ [8.7.8] ・ 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・ 20mm 打増し範囲 ・ 図示による ()	
・ 型枠の加工及び組立	シアコネクタをセパレーターとして使用 [8.7.8] 使用箇所 ・ 図示による ()	
・ 型枠の存置期間及び取外し	普通エコセメントの場合の最小存置期間 [8.7.8] ・	

章	項目	特記事項	
○ あと施工アンカー工事	○ あと施工アンカー	材料等 [8.2.4]	
		・ 金属系アンカー ・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による () ・ せん断耐力 ・ kN ・ 図示による () アンカー本体の径及び埋込み長さ ・ 図示による () セット方式 ※ 本体打込み式改良型 接合部の種類、径、長さ ・ 図示による () ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による ()	
	○ 穿孔	埋込み配管等の探索方法 [8.12.4]	
		○ 鉄筋探知器 (金属探知器) により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる ・	
	○ 施工確認試験	試験方法 [8.12.7]	
		※ 引張試験機による引張試験 確認強度 ・ 図示による () 試験箇所数 ()	
	8-4 耐震改修工事 (鉄骨工事)	・ 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5]
			※ 建築基準法 第88条の25 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 () グレード以上 ・ 監督職員の承諾する工場
		・ 鉄骨製作工場における施工管理技術者	※ 配置する [8.1.6]
			種類等 [8.2.8]
・ 鋼材		種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格	
		・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる	
・ 材料試験等		形状及び寸法 ・ 図示による ()	
		板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 [8.2.14] ・ 行う (適用箇所) () ・ 行わない	
・ 高力ボルト		高力ボルトの種類 [8.2.9][8.13.2][8.14.2][8.14.7]	
		・ トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト ・ ボルトの寸法 ねじの呼び ・ 図示による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () 摩擦面の性能及び処理 ・ すべり試験の実施 (試験方法 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験) JIS形高力ボルトの締付け (本締め) ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 ・ 図示による ()	
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2][8.20.5] ・ 図示による () 摩擦面の処理方法 ・ プラスト処理 (表面粗度50µmRz以上) ・ リン酸塩処理 ・		
	溶接材料 [8.2.10] ・ 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・		
工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事			
図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-7		尺度 図示	
福山市建設局建築部営繕課		縮尺率 図面No A1=100% A2= 71% A3= 50%	
7		22	


章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項								
8-12 建築改修工事 (単工種)	既存杭の撤去等	撤去範囲及び撤去方法 ・ 図示による () 既存杭の杭頭部等の処理 ・ 図示による () 既存杭の補強 ・ 図示による () 既存杭の健全性を確認する試験 ・ 図示による ()	[8. 28. 2]	⑩ 掘削配管改修工事	○ 石綿含有建材の除去工事	○ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○ 図示による ・ 石綿粉じん濃度測定 [9. 1. 1] 測定時期、場所及び測定点 測定名称 測定時期 測定場所 測定箇所数 石綿含有建材の処理 [9. 1. 3] ・ 石綿含有吹付け材の除去 (石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む) 除去対象範囲 ・ 図示による 除去方法 ※ 改修標準仕様書 9. 1. 3 (2) (ア)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設は無害化処理施設)	・ 断熱・防露改修工事	・ 断熱材打込み工法 [9. 3. 2] 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 断熱材現場発泡工法 [9. 3. 3] 断熱材の種類 ・ A種 1 ・ A種 1 H 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ 断熱材後張り工法 [9. 3. 4] 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) ・ フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 断熱材に直接ボードの張り付けを行う場合の張付け工法 () ・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法 ()											
	埋戻し及び盛土	材料及び工法 ・ 材料 () ・ 工法 () ※ 改修標準仕様書表 8. 28. 1による ・ A種 適用場所() ・ B種 適用場所() ・ C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・ D種 適用場所() 建設発生土の処理 ※ 構外搬出適切処理 ・ 構内指定場所に堆積 ・ 構内指定場所に敷き均し	[8. 28. 3]		○ 石綿含有成形成等の除去 [9. 1. 5] 除去対象範囲 ○ 図示による 隔離養生(負任不要)方法 ○ 図示による 足場 ○ 図示による 除去した石綿含有成形成等の処分 ○ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)	・ 屋上緑化改修工事	材料 芝及び地被類の種類等 ※ 図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による かん水装置 ・ 設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯損償の期間 ※ 引渡しの日から1年 ・												
	試験及び報告書	試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・ 図示による () ・ 杭の載荷試験方法 ・ 図示による 試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 ・ () ・ 地盤の載荷試験方法 ・ 図示による 試験及び載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 ・ ()	[8. 28. 4]		○ 石綿含有保温材等の除去 [9. 1. 4] 除去対象範囲 ・ 図示による 除去方法 ※ 原形のまま、手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)	・ 透水性アスファルト舗装改修工事	既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示による [9. 5. 2] [9. 5. 3] 路床の材料 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table> 凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない ・ 路床安定処理 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない	種別	材料	厚さ(mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示による	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示による	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による
	種別	材料	厚さ(mm)																
	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示による																
	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示による																
	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による																
	杭地業	杭の材料 ・ 図示による 杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・ 図示による 杭の工法、種類、寸法、施工工法等 ・ 図示による 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む) ・ 図示による () 杭の溶接継手 技能資格者の技量 図示による () 溶接部の確認 ・ 図示による () 杭頭部の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による () 支持層への根入れ長さ ・ () 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 ・ 図示による ()	[8. 2. 15]		断熱材 [9. 2. 2] 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm) 外装材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 既存外壁の処置 [9. 2. 3] 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 [9. 2. 4] 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	種類	防火性能	備考	・			路床の材料 ・ 図示による [9. 5. 4] 路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 [9. 5. 5] ・ 図示による 舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの ・ 粗粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない [9. 5. 9]							
	種類	防火性能	備考																
	・																		
	砂利地業	材料 ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂利厚さ ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ()	[8. 2. 15][8. 28. 4]		断熱材 [9. 2. 2] 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm) 外装材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 既存外壁の処置 [9. 2. 3] 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 [9. 2. 4] 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	種類	防火性能	備考	・			路床の材料 ・ 図示による [9. 5. 4] 路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 [9. 5. 5] ・ 図示による 舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの ・ 粗粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない [9. 5. 9]							
	種類	防火性能	備考																
・																			
砂地業	材料(シルト、有機物等の混入しない綿固めに選した砂) ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕石 砂厚さ ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ()	[8. 2. 15][8. 11. 1][8. 28. 4]	断熱材 [9. 2. 2] 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm) 外装材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 既存外壁の処置 [9. 2. 3] 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 [9. 2. 4] 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	種類	防火性能	備考	・			路床の材料 ・ 図示による [9. 5. 4] 路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 [9. 5. 5] ・ 図示による 舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの ・ 粗粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない [9. 5. 9]									
種類	防火性能	備考																	
・																			
捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ ※ 50mm コンクリートの類別 ・ I類 ・ II類 () コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/mm ² スランブ ※ 15cm又は18cm	[8. 2. 15][8. 11. 1][8. 28. 4]	断熱材 [9. 2. 2] 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm) 外装材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 既存外壁の処置 [9. 2. 3] 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 [9. 2. 4] 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	種類	防火性能	備考	・			路床の材料 ・ 図示による [9. 5. 4] 路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 [9. 5. 5] ・ 図示による 舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの ・ 粗粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない [9. 5. 9]									
種類	防火性能	備考																	
・																			

章 工事 土	項目	特記事項	章 4	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
	○ 埋戻し及び盛土	材料及び工法 ※ 標準仕様書 表 3. 2. 1による ・ A種 施工箇所 () ・ B種 施工箇所 () ・ C種 施工箇所 () 土質 () 受変場所 () ・ D種 施工箇所 () 建設発生土の処理 処理 (3. 2. 5) ・ 構外搬出 (搬出先:) ・ 構内指定場所に堆積 ・ 構内指定場所に敷均し			○ 試験及び報告書等		直接基礎 (4. 2. 1) 支持地盤の位置及び土質 (基礎底部の位置含む) ・ 図示による 試験掘り (根切り底の状態の確認等) ・ 行う 行わない 位置等 図示による 杭基礎 (4. 2. 2)(4. 3. 4)(4. 3. 5)(4. 5. 5)(4. 5. 6) 支持層の位置及び土質 (杭先端の位置含む) ・ 図示による 試験杭の位置、本数及び寸法 ・ 図示による 杭の載荷試験 (4. 2. 3) ・ 適用する 適用しない 載荷試験の方法 ・ 鉛直載荷試験 ・ 地盤工学会基準JGS ()による ・ 水平載荷試験 ・ 地盤工学会基準JGS18311による ・ 載荷試験の試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 地盤の載荷試験 (4. 2. 4) ・ 適用する 適用しない 載荷試験の方法 平板載荷試験 ・ 地盤工学会基準JGS15211による 載荷試験の位置、載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 既製コンクリート杭地業 (4. 3. 3) 材料 杭の種類 ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC杭) SC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 杭の性能及び曲げ強度等による区分等 ・ 図示による 杭の寸法、継手の箇所数等 ・ 図示による 杭先端部形状 (4. 3. 3) ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 工法 ・ セメントミルク工法 (4. 3. 1)(4. 3. 4) 掘削深さ ・ 図示による 杭の支持層への根入れ長さ ・ 図示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 根間液及び杭周囲定液の管理試験 ※ 標準仕様書 4. 3. 4 (6) (コ)による 特定埋込杭工法 (4. 3. 1)(4. 3. 5) ・ プレポーリング拡大根間工法 ・ 中掘り拡大根間工法 ・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうち、 α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法 $\alpha=()$ 、 $\beta=()$ 、 $\gamma=()$ 継手 (4. 3. 3)(4. 3. 6)(7. 2. 5) 杭の継手の工法 ・ 溶接継手 溶接材料 ・ 標準仕様書 7. 2. 5 (1) (2)による ・ 機械式継手 杭頭の処理 (4. 3. 8) ・ 処理する 処理しない 処理方法 (切断に伴う補強方法含む) ・ 図示による 鋼杭地業 (4. 4. 3) 材料 鋼杭の材料 図示による 工法 特定埋込杭工法 (4. 3. 5)(4. 4. 4) ・ 中掘り拡大根間工法 ・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうち α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法 $\alpha=()$ 、 $\beta=()$ 、 $\gamma=()$				

項目	特記事項	項目	特記事項
○ 場所打ちコンクリート杭地業	材料その他 (4. 5. 4) 鉄筋の種類 (4. 5. 4)(5. 2. 1) 種類 呼び径 (mm) 備考 ・ S0295 ・ S0345 帯筋の加工及び組立 (4. 5. 4) ・ 図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ (4. 5. 4) ・ 100mm 鉄筋かごの補強 (4. 5. 4) ・ 図示による 組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4. 5. 4)(5. 3. 4) ※ 重ね継手 ※ 重ね継手の長さ ※ 標準仕様書 表 5. 3. 2による 主筋の基礎底面への定着長さ (4. 5. 4)(5. 3. 4) ・ 図示による セメントの種類 (4. 5. 4) ※ 高炉セメントB種 コンクリートの設計基準強度 (F _c) (4. 5. 4) ・ 図示による コンクリートの種類 (4. 5. 4)(表 4. 5. 1) ・ A種 ・ B種 ・ 評定等の内容による スラブ (4. 5. 4) ※ 21cm ・ 18cm ・ () cm 構造体強度補正値 (S) (4. 5. 4) ※ 3N/mm ² ・ 図示による 評定等の内容による 鋼材部分の材料 ・ 図示による 工法 (4. 5. 1) (4. 5. 4~4. 5. 6) ・ アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ 拡張杭工法 杭の支持層への根入れ長さ ・ 図示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 孔壁の確認 (超音波測定器による) ・ 行う 測定箇所 ・ 試験杭 () 箇所、本杭 () 箇所 ○ 砂利地業 (4. 6. 2) 材料 ○ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂利地業の厚さ (4. 6. 3) ※ 60mm 範囲 ○ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下、土間コンクリート下 ・ 図示による ○ 砂地業 (4. 6. 2) 材料 ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 砂地業の厚さ (4. 6. 3) ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ○ 捨コンクリート地業 (4. 6. 4) 捨コンクリートの厚さ (4. 6. 4) ※ 50mm 範囲 ・ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ・ 図示による コンクリートの種類 (4. 6. 4)(6. 14. 1) ※ 普通コンクリート 標準仕様書 表 6. 2. 1以外のコンクリートを用いる場合 (4. 6. 4)(6. 14. 1) ・ 図示による 設計基準強度 (4. 6. 4)(6. 14. 1) ※ 18N/mm ² スラブ (4. 6. 4)(6. 14. 1) ※ 15cm又は18cm ○ 床下防湿層 (4. 6. 5) 防湿層 (4. 6. 5) 適用する (4. 6. 2) 材料 (4. 6. 2) ※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 範囲 (4. 6. 5) ○ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) ・ 図示による 材料 (4. 7. 2) 地盤改良 (深層混合処理工法) (4. 7. 3) 材料 固化材の種類 ・ セメント固化材 工法 (4. 7. 3) 方式 ※ 機械攪拌方式 改良体の設計基準強度 (F _c)、改良体長さ、改良率、改良体幅 ・ 図示による		

項目	特記事項	項目	特記事項
○ 地盤改良 (深層混合処理工法)	材料 (4. 8. 2) 固化材の種類 ・ セメント固化材 工法 (4. 8. 3) 方式 ※ 原位置混合方式 改良体の設計基準強度 (F _c)、改良対象土、改良範囲、改良厚さ ・ 図示による 固化材の配合量を決定するための対象とする地層 ・ 図示による 室内配合試験における一軸圧縮試験の供試体数 ・ 図示による 改良工事完了後の試験 一軸圧縮試験の検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法 ・ 図示による 六価クロム溶出試験 ・ 適用する 適用しない ○ 鉄筋 (5. 2. 1) 鉄筋の種類 (5. 2. 1) 種類 呼び径 (mm) 備考 ○ S0295 ○ D16以下 ○ S0345 ・ D19以上 溶接金網 (5. 2. 2) 鉄筋の形状等 (5. 2. 2) 種類 種類 鉄筋の形状、網目寸法、鉄筋の径 (mm) 使用部位 ・ 溶接金網 鉄筋の折曲げ形状及び寸法 (5. 3. 2) ・ 鉄筋の折曲げ角度が90°未満の折曲げ内径直径 (D) () 以上 鉄筋の継手の方法等 (5. 3. 4) 部位 継手の方法 呼び径 (mm) 柱及び梁主筋 ・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手 耐力壁の鉄筋 ・ 重ね継手 ・ 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・ 重ね継手 ・ ガス圧接 上記以外 (床・ｽﾗﾌﾞ・腰壁) ○ 重ね継手 ○ 10 継手位置 (5. 3. 4) ・ 図示による 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5. 3. 4) ・ 図示による 耐力壁の重ね継手の長さ (5. 3. 4) ※ 標準仕様書 5. 3. 4 (3) (ア)による ・ 図示による ・ 先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同箇所設ける場合 ・ 図示による 鉄筋の定着長さ (5. 3. 4) ※ 標準仕様書 表 5. 3. 4による ・ 図示による 標準仕様書 5. 3. 4 (5) (イ)の場合の折曲げ定着の方法 ※ 標準仕様書 図 5. 3. 3により 5. 3. 4 (5) (イ)を全て満足する 機械式定着工法 (5. 3. 4) ・ 適用する ○ 適用しない 適用箇所 図示による 種類 図示による 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) (5. 3. 5) 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※ 標準仕様書 表 5. 3. 6による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・ 有り 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 軽量コンクリートの適用の有無 ・ 有り 適用箇所 () 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・ 有り 適用箇所 () 耐久性上不利な箇所の有無 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ 有り 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・ 図示による 各部配筋 (5. 3. 7) 鉄筋による ○ 床・ｽﾗﾌﾞ・腰壁 D10@200 圧接完了後の圧接部の試験 (5. 4. 10)(5. 4. 11) 抜取試験 ※ 超音波探傷試験 標準仕様書 5. 4. 10 (イ) (a)による 引張試験 試験方法等 図示による 工法 (5. 5. 3) 適用箇所 ・ 図示による 平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5. 5. 3) ・ A級 機械式継手の種類 (5. 5. 3) ・ 図示による 鉄筋相互のあき (5. 5. 3) ・ 評定等の内容による 図示による		

項目	特記事項
○ 溶接継手	施工完了後の継手部の試験 (5. 5. 5) 外観試験 試験項目及び合格判定 ※ 標準仕様書 表 5. 5. 1~表 5. 5. 3による ・ 図示による 外観試験で不合格となった場合の措置 (5. 5. 6) ※ 標準仕様書 5. 5. 6 (1)による ・ 図示による 超音波測定試験 試験対象 ・ 図示による 超音波測定試験で不合格となった場合の措置 (5. 5. 6) ・ 図示による 工法 (5. 6. 3) 適用箇所 ・ 図示による 平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5. 6. 3) ・ A級 溶接継手の工法 (5. 6. 3) ・ 図示による 鉄筋相互のあき (5. 6. 3) ・ 図示による ○ コンクリートの種類 (6. 2. 1)(表 6. 2. 1) 種類 ※ I類 (J I S A 5 3 0 8 への適合を認証されたコンクリート) ・ II類 (J I S A 5 3 0 8 に適合したコンクリート) ○ 普通コンクリート (6. 2. 1~6. 2. 4)(表 6. 2. 2) 設計基準強度 (N/mm ²) スラブ (cm) 適用箇所 ・ 21 ※ 15又は18 基礎、基礎梁、土間スラブ、床下地 ・ 21 ※ 18 柱、梁、スラブ、壁 ・ ・ ・ 軽量コンクリート (6. 2. 1)(6. 10. 2) ・ 建築基準法第37条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート (6. 2. 1) 適用箇所 () 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6. 2. 5)(表 6. 2. 4) 種類 適用箇所 ・ A種 ・ 図示による ・ B種 ・ 図示による ・ C種 ・ 図示による コンクリートの仕上げの平たんさ (6. 2. 5)(表 6. 2. 5) 種類 適用箇所 ・ a種 ・ 図示による ・ b種 ・ 図示による ・ c種 ・ 図示による ○ セメント 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※ 下記以外全て) ・ 高炉セメントB種 適用箇所 () ・ フライアッシュセメントB種 適用箇所 () ・ 普通エコセメント 適用箇所 () ○ 骨材 フェロニッケルslag骨材、鋼スラグ骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 (6. 3. 1) ・ 適用する 適用箇所 () ・ 適用しない 再生骨材H (普通エコセメントを使用するコンクリート) (6. 3. 1) ・ 適用する 適用箇所 () ・ 適用しない アルカリシリカ反応性による区分 (6. 3. 1) ※ A ・ B ○ 混和材料 混和材料の適用及び種類 (6. 3. 1) ○ 混和剤 混和剤の種類 ※ 標準仕様書 6. 3. 1 (4) (a)による ○ 混和材 (6. 3. 1) 混和材の種類 ※ 標準仕様書 6. 3. 1 (4) (b)による 標準仕様書 6. 3. 2 (イ) (イ)の①~③以外の混和材料 (6. 3. 2) 使用方法及び使用量 ※ 監督職員の承諾による ○ コンクリートの調合 (6. 3. 2) 調合管理強度 構造体強度補正値 (S) ※ 標準仕様書 表 6. 3. 2による ○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6. 6. 4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※ スラブの中央又は端から1/4の付近 ・ 図示による 柱及び壁 ※ スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・ 図示による 目地の寸法 (6. 6. 4)(6. 8. 1)(9. 7. 3) ※ 標準仕様書 9. 7. 3 (1) (ア)による ・ 図示による ひび割れ誘発目地の位置、形状 ・ 図示による

工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事		尺度
図面名称 建築工事特記仕様書 No-1		図示
 福山市建設局建築部営繕課	施尺率	図面No
	A1=100%	9/22
	A2= 71%	
A3= 50%		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
6	打増し厚さ (打放し仕上げ部)	打増し厚さ (6.8.1) ・ 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・ 10mm 20mm 打増し範囲 ・ 図示による	7	高力ボルト	形状および寸法 (7.2.1) ・ 適用する 板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験 (7.2.10) ・ 行方 (適用箇所:) 行わない (7.2.9) 高力ボルトの種類 (7.2.2) ・ トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト ・ 建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト ボルトの寸法 (7.2.2) ねじの呼び 図示による ボルトの繰進距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示による (7.3.2) 摩擦面の性能及び処理 (7.4.2) ・ すべり試験 試験の方法等 図示による 溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法 (7.12.5) ・ 標準仕様書 7.12.5 (1) (ア)、(イ)による JIS形高力ボルトの締付け (本締め) (7.4.7) ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 図示による ボルト及びナットの種類 (7.2.3) ・ 標準仕様書 7.2.3による ボルトの形状及び寸法 (7.2.3) ねじの呼び 図示による ボルトの繰進距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示による (7.3.2) 母屋又は副線の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8) ・ ねじの呼び径+1.0mm 種類 (7.2.4) ・ 構造用アンカーボルト ・ ABR400 ABR490 ・ 建方用アンカーボルト ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差クラス及び仕上げの程度 (7.3.2) ・ 標準仕様書 7.2.3による ボルトの繰進距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示による 溶接材料 (7.2.5) ・ 標準仕様書 7.2.5 (1)、(2)による ・ 図示による ターナックル (7.2.6) 種類 建築用ターナックルボルト ・ 羽子板ボルト 建築用ターナックル鋼 ・ 割替式 ねじの呼び等 図示による 床構造用デッキプレート (7.2.7) 材質、形状及び寸法 ・ デッキプレート単独の構法 ・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法 コンクリートの種類 (7.14.1) ・ 普通コンクリート 設計基準強度 (7.14.1) ・ 18 (N/mm ²) スラブ (7.14.1) ・ 15cm又は18cm 適用箇所 (7.14.1) ・ 標準仕様書 6.14.1 (4)による ・ 図示による ・ 標準仕様書表 6.2.1 以外のコンクリートを用いる場合 () 流動化コンクリート (7.15.1) 適用箇所 ・ 図示による 空気量 ・ 4.5% 高流動コンクリート (7.16.1) 適用箇所 (部位、部材) ・ 図示による 材料及び調合 (7.6.3) スラップフロー 図示による 空気量 ・ 4.5% 単位積骨材かさ容積 ・ 0.50m ³ /m ³ 以上 鉄骨製作工場 (7.1.3) 鉄骨製作工場の加工能力 ・ 国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 () グレード以上 ・ 監督職員の承諾する工場 施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4) 鉄骨製作工場における施工管理技術者 ・ 適用する 鋼材 (7.2.1) 種類等 種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格 ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる 溶接部の試験 (7.6.12) 溶接部の外観試験 平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験 試験の方法等 ・ 「実合せ継手の食い違いのずれの検査・補強マニュアル (鉄骨製作管理技術者登録機構)」 3.5.2 受人検査による。 ・ 抜き取り検査①	形状および寸法 (7.2.1) ・ 適用する 板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験 (7.2.10) ・ 行方 (適用箇所:) 行わない (7.2.9) 高力ボルトの種類 (7.2.2) ・ トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト ・ 建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト ボルトの寸法 (7.2.2) ねじの呼び 図示による ボルトの繰進距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示による (7.3.2) 摩擦面の性能及び処理 (7.4.2) ・ すべり試験 試験の方法等 図示による 溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法 (7.12.5) ・ 標準仕様書 7.12.5 (1) (ア)、(イ)による JIS形高力ボルトの締付け (本締め) (7.4.7) ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 図示による ボルト及びナットの種類 (7.2.3) ・ 標準仕様書 7.2.3による ボルトの形状及び寸法 (7.2.3) ねじの呼び 図示による ボルトの繰進距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示による (7.3.2) 母屋又は副線の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8) ・ ねじの呼び径+1.0mm 種類 (7.2.4) ・ 構造用アンカーボルト ・ ABR400 ABR490 ・ 建方用アンカーボルト ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差クラス及び仕上げの程度 (7.3.2) ・ 標準仕様書 7.2.3による ボルトの繰進距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示による 溶接材料 (7.2.5) ・ 標準仕様書 7.2.5 (1)、(2)による ・ 図示による ターナックル (7.2.6) 種類 建築用ターナックルボルト ・ 羽子板ボルト 建築用ターナックル鋼 ・ 割替式 ねじの呼び等 図示による 床構造用デッキプレート (7.2.7) 材質、形状及び寸法 ・ デッキプレート単独の構法 ・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法 コンクリートの種類 (7.14.1) ・ 普通コンクリート 設計基準強度 (7.14.1) ・ 18 (N/mm ²) スラブ (7.14.1) ・ 15cm又は18cm 適用箇所 (7.14.1) ・ 標準仕様書 6.14.1 (4)による ・ 図示による ・ 標準仕様書表 6.2.1 以外のコンクリートを用いる場合 () 流動化コンクリート (7.15.1) 適用箇所 ・ 図示による 空気量 ・ 4.5% 高流動コンクリート (7.16.1) 適用箇所 (部位、部材) ・ 図示による 材料及び調合 (7.6.3) スラップフロー 図示による 空気量 ・ 4.5% 単位積骨材かさ容積 ・ 0.50m ³ /m ³ 以上 鉄骨製作工場 (7.1.3) 鉄骨製作工場の加工能力 ・ 国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 () グレード以上 ・ 監督職員の承諾する工場 施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4) 鉄骨製作工場における施工管理技術者 ・ 適用する 鋼材 (7.2.1) 種類等 種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格 ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる 溶接部の試験 (7.6.12) 溶接部の外観試験 平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験 試験の方法等 ・ 「実合せ継手の食い違いのずれの検査・補強マニュアル (鉄骨製作管理技術者登録機構)」 3.5.2 受人検査による。 ・ 抜き取り検査①	完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12) ・ 適用する ・ 適用しない 工場溶接の場合 AQL (%) ※ レベル II レベル I 節 全て 検査水準 ※ 第6水準 塗装の範囲 (7.8.2) 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・ 図示による ※ 標準仕様書 7.8.2 (1) による 下記以外の塗料の種類は、18章による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 (7.8.4)(表 18.3.1) ※ A種 B種 ・ 耐火被覆が接着する面の塗料の種類 種類、材料、工法等 (7.9.2~7.9.8) 種類 材料・工法 耐火性能 (時間) 適用箇所 (部位・部分) ・ 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 耐火板張り ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 ・ 耐火材巻付け ・ 高断熱ロックウール ・ モルタル塗り ・ 耐火塗料 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3) ・ 図示による 構造用アンカーボルトの保持及び埋込み (7.10.3) ※適切な鋼製アンカーフレーム等を設置して固定する方法 ・ 図示による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)(表 7.10.1) 種類 A種 B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 (7.10.3)(表 7.10.2) 厚さ mm 種類 ※ A種 ボルト接合方法 (7.11.2) ・ 普通ボルト接合 材料 (8.2.2) 適用箇所 ブロックの種類 (断面形状及び圧縮強さによる区分) 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 備考 モルタルの調合 (容積比) (8.2.3) ※ブロックの区分が A (08)、B (12)、C (16) の場合で、目地幅が10mm程度の場合 ・ 標準仕様書表 8.2.1による 各部の配筋 図示による (8.2.5) 目地仕上げ 押し目地仕上げ 化粧目地仕上げ (8.2.7) まぐさを受ける開口部両側のブロックにおいて、モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 (8.2.8) 図示による 材料 (8.3.2)(表 8.3.1) 適用箇所 ブロックの種類 (断面形状及び圧縮強さによる区分) 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 備考 ※ 標準仕様書表 8.3.1 ※ 空洞ブロック C (16) 適用箇所が隙の場合で化粧有りのブロック (適用箇所:) 適用しない モルタルの調合 (容積比) (8.2.3)(8.3.3) ※ブロックの区分が A (08)、B (12)、C (16) の場合で、目地幅が10mm程度の場合 ・ 標準仕様書表 8.2.1による 鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 (8.3.4) 図示による 各部の配筋 図示による (8.3.4) 材料、構法 (8.4.2~8.4.5)(表 8.4.2~表 8.4.4) 用途 形状 表面加工 単位荷重 (N/m ²) 厚さ (mm) 幅及び長さ (mm) 耐火性能 (時間) 構法の種類 ・ 外壁用 一般 平 100 図示 有 (1) A種 ・ コーナー 意匠 図示 有 (1) B種 ・ 間仕切壁用 一般 平 100 図示 有 (1) C種 ・ コーナー 意匠 図示 有 (1) D種 ・ 屋根用 図示 有 (0.5) F種 ・ 床版用 図示 有 ()	パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 (8.4.2) ・ 図示による 外壁パネル構法 (8.4.3) 耐火性能 () 耐震性能 () パネル幅 ・ 300mm未満 (・ 図示による) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 ※ 10~20mm 図示による 伸縮目地への耐火目地材の充填 適用する 適用しない 間仕切壁パネル構法 (8.4.3)(8.4.4) 耐火性能 () 耐震性能 () パネル幅 ・ 300mm未満 (・ 図示による) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 ※ 10~20mm 図示による 伸縮目地への耐火目地材の充填 適用する 適用しない 屋根及び床パネル構法 (8.4.3)(8.4.5) 耐火性能 () 耐震性能 () パネル幅 ・ 300mm未満 (・ 図示による) 材料、工法 (8.5.2~8.5.4)(表 8.5.1)(表 8.5.2) パネルの種類 形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 工法の種類 備考 ・ 外壁パネル F (フラットパネル) 50 60 600 A種 B種 ・ D (デザインパネル) 50 60 ・ T (タイルベースパネル) 60 ・ 間仕切壁パネル F (フラットパネル) 50 60 ・ D (デザインパネル) 50 60 ・ T (タイルベースパネル) 60 外壁パネル工法 (8.5.3) 耐火性能 () 耐震性能 () 間仕切壁パネル構法 (8.5.4) 耐火性能 () 耐火構造以外の目地及び隙の処理 (8.5.3)(8.5.4) ※ パネルの製造所の仕様による パネル幅の最小限度 (8.5.3)(8.5.4) ・ 300mm未満 (・ 図示による) パネルの相互の目地幅 (8.5.3)(8.5.4) 目地幅 900mm以下の場合 900mmを超える場合 長辺の目地幅 ※ 10mm以上 ※ 15mm以上 短辺の目地幅 ※ 15mm以上 ※ 15mm以上 出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅 (8.5.3)(8.5.4) ※ 15mm程度 (シーリング材を充填) 図示による 溝底及び開口部の措置 (8.5.5) やむを得ず設備開口等がある場合のパネルの開口寸法等の限度 図示による 防水工事 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.3~表 9.2.6) 屋根保護防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.3~表 9.2.6) 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 絶縁用シート ・ A-1 断熱材 ※ ポリエチレンフィルム厚さ ・ A-2 0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/m ² 程度 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ A1-1 (厚さ) ※ フラットヤーンクロス70g/m ² ・ A1-2 mm 程度 ・ A1-3 ・ B1-1 ・ B1-2 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標準仕様書表 9.2.3及び表 9.2.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 R種 N種 厚さ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標準仕様書表 9.2.5及び表 9.2.6による 用途による区分 材料構成による区分 R種 N種 厚さ mm以上 押入金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ・ アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表 9.2.4)(表 9.2.6) 適用する 適用しない 屋根露出防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.7)(表 9.2.8) 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 使用量 ・ D-1 断熱材 ※ 製造所の仕様による ・ D-2 ・ D1-1 種類 ・ D1-2 厚さ mm			

章	項目	特記事項
9	防水工事	屋根保護防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.3~表 9.2.6) 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 絶縁用シート ・ A-1 断熱材 ※ ポリエチレンフィルム厚さ ・ A-2 0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/m ² 程度 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ A1-1 (厚さ) ※ フラットヤーンクロス70g/m ² ・ A1-2 mm 程度 ・ A1-3 ・ B1-1 ・ B1-2 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標準仕様書表 9.2.3及び表 9.2.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 R種 N種 厚さ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標準仕様書表 9.2.5及び表 9.2.6による 用途による区分 材料構成による区分 R種 N種 厚さ mm以上 押入金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ・ アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表 9.2.4)(表 9.2.6) 適用する 適用しない 屋根露出防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.7)(表 9.2.8) 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 使用量 ・ D-1 断熱材 ※ 製造所の仕様による ・ D-2 ・ D1-1 種類 ・ D1-2 厚さ mm

工事名称
福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事

図面名称
建築工事特記仕様書 N-2

図示

縮尺率 図面No
A1=100%
A2= 71%
A3= 50%

10/22



福山市建設局建築部営繕課

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
19	内装工事	見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等） ・ 適用しない ・ タイルカーベットの敷き方 平場 ※ 市松敷き 階段部分 ※ 模様流し	19	移動間仕切	パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ ボード表面への化粧張仕上げの有無 ・ 有り（種類：）	移動間仕切	材料及び性能等 (20.2.4) 操作方式による種類 ・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式 圧搾装置の操作方式 ・ プッシュ式 ・ ハンドル式 パネル表面材 ・ 鋼板 ・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り ・ 仕上げ ・ 36未満 ・ 36以上	20	カーテンレール	材料等 (20.2.16) レール及びブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 レールの材料による区分 ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ ステンレス製 レールの仕上げ ※ アルマイト レールの形状 ※ 角形 カーテン付属物 フック（ひるかん） ※ 鋼製 ・ 樹脂製	
		合成樹脂塗床 合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆			天井のボードの重ね張りの張り付け方法 (ロックウール吸音板を除く) () せっこうボードの目地工法 () 種類 ・ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目隠し工法 せっこうボードのエッジの種類（突付け工法、目隠し工法の場合） ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ		ハンガーレールの取付け下地 ※ 標準仕様書20.2.3(3)(ウ)による ハンガーレール ※ 標準仕様書20.2.4(3)(エ)による ランナー ※ 標準仕様書20.2.4(3)(オ)による パネルをランナーに取り付ける部品 ※ 標準仕様書20.2.4(3)(カ)による あと施工アンカー ・ 使用する (種類：) ・ 使用しない			カーテンレール 材料等 ・ 間知石 ・ 花こう岩 ・ 凝灰岩 ・ コンクリート間知ブロック	
		種類 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1~表19.4.8)			材料 (19.7.2)		○ トイレブース			材料等 ○ 図示による (20.2.5)	
		種類			種類		○ 手すり			材料の種類 ○ 図示による 仕上げ ○ 図示による (20.2.6)	
		種類			種類		○ 階段滑り止め			材料等 (20.2.7)	
		種類			種類		○ 鏡			材料の種類 ※ ステンレス製 仕上げ ※ 研磨等の仕上げを行わない (20.2.12)	
		種類			種類		○ 表示			材料等 (20.2.14)	
		種類			種類		○ ロールスクリーン			材料等 (20.2.15)	
		種類			種類		○ カーテン			材料等 (20.2.16)(表20.2.1)	
		種類			種類		○ 可動間仕切			材料等 (20.2.3)	
		種類			種類		○ 断熱材			材料等 (20.2.2)	
		種類			種類		○ 断熱材			材料等 (20.2.2)	
		種類			種類		○ 断熱材			材料等 (20.2.2)	
		種類			種類		○ 断熱材			材料等 (20.2.2)	
		種類			種類		○ 断熱材			材料等 (20.2.2)	
		種類			種類		○ 断熱材			材料等 (20.2.2)	

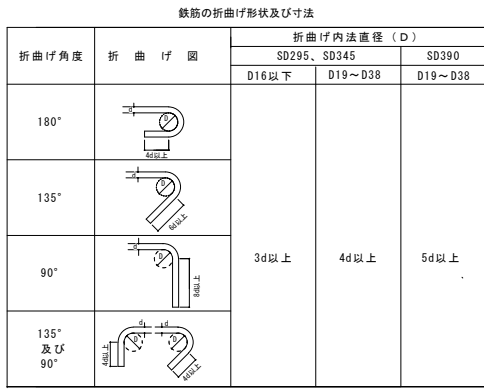
項目	特記事項
○ 天井点検口	材料等 (20.2.11)
○ 床点検口	材料等 (20.2.11)
○ 耐震スリット	材料等 (20.2.11)
○ 止水板	材料等 (20.2.11)
○ エキスパンジョイント金物	材料等 (20.2.11)
○ くつきマット	材料等 (20.2.11)
<p>工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事</p> <p>図面名称 建築工事特記仕様書 No-3</p> <p>図示</p> <p>縮尺率 A1=100% A2=71% A3=50%</p> <p>図面No 11/22</p>	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																												
20 舗装 工事	流し台ユニット	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材種</th> <th colspan="3">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> <tr> <td>流し台</td> <td>1,200 1,500 1,800</td> <td>550 600 650</td> <td>800 850</td> <td>市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>コンロ台</td> <td>600</td> <td>550 600 650</td> <td>620 670</td> <td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>つり戸棚</td> <td>1,200 900</td> <td>450</td> <td>700</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>水切り</td> <td>1,200 900 600</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>市販品 ステンレス製 1段式</td> </tr> </table> <p>品質・性能・形状 図示による</p>	材種	寸法 (mm)			備考	W	D	H	流し台	1,200 1,500 1,800	550 600 650	800 850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	コンロ台	600	550 600 650	620 670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	つり戸棚	1,200 900	450	700	市販品	水切り	1,200 900 600	-	-	市販品 ステンレス製 1段式	凍上抑制層に用いる材料 (21.2.1) 砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 標準仕様書 21.2.2 (6) (オ) の排水柵を現場打ちとする場合の足掛け金物 (21.2.2) ・ 幅 40mm、径 22mm のステンレス製 ・ 径 22mm の防錆処理を行った鋼製 ・ 径 19mm の成樹樹脂被覆加工を行ったもの	22 舗装 工事	舗装材料 (21.2.1) (表 21.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材 質</th> <th>規格等</th> <th colspan="3">耐荷重による種類</th> </tr> <tr> <td>鋼製骨架</td> <td>標準品</td> <td>JIS S 1039 による</td> <td>1種</td> <td>2種</td> <td>3種</td> </tr> <tr> <td>鋼製物品種</td> <td>スプリング式</td> <td></td> <td>4種</td> <td>5種</td> <td>6種</td> </tr> </table> <p>高さ 図示による</p>	種類	材 質	規格等	耐荷重による種類			鋼製骨架	標準品	JIS S 1039 による	1種	2種	3種	鋼製物品種	スプリング式		4種	5種	6種	<table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>高 さ (m)</th> <th>操作 方法</th> <th>固定 方法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム合金製</td> <td>テーパー型 同一断面型</td> <td></td> <td>ハンドル式 ロープ式</td> <td>埋込み式 ベース式 バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材 質	形 式	高 さ (m)	操作 方法	固定 方法	備 考	アルミニウム合金製	テーパー型 同一断面型		ハンドル式 ロープ式	埋込み式 ベース式 バンド式		鋼製マンホールふた (21.2.1) <table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>種 類</th> <th>適用 荷重</th> <th>鍵</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼製マンホールふた</td> <td>水封形 (簡易密閉形 (バックキンス式)・密閉形 (テーパー・バックキンス式)・中ふた付き密閉形 (テーパー・バックキンス式)・)</td> <td>T-2 用 T-6 用 T-20 用</td> <td>有り 無し</td> <td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による</td> </tr> </table>	名 称	種 類	適用 荷重	鍵	備 考	鋼製マンホールふた	水封形 (簡易密閉形 (バックキンス式)・密閉形 (テーパー・バックキンス式)・中ふた付き密閉形 (テーパー・バックキンス式)・)	T-2 用 T-6 用 T-20 用	有り 無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による	鋼製マンホールふた (21.2.1) <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>用 途</th> <th>適用 荷重</th> <th>メ インバ ーチピ ッチ</th> <th>蓋 始め のつ き (付着量)</th> <th>上 面 形 状</th> </tr> <tr> <td>鋼製</td> <td>受付付き、ボルト固定</td> <td>溝ふた (横断用)</td> <td>歩行用</td> <td>細目</td> <td>()</td> <td>凹凸形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溝ふた</td> <td>溝ふた (側溝用)・樹ふた用・U字溝用</td> <td>T-2 用 T-6 用 T-14 用 T-20 用</td> <td>普通目</td> <td>()</td> <td>平形</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>受付付き、ボルト固定</td> <td>溝ふた (横断用)</td> <td>歩行用</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>凹凸形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溝ふた</td> <td>溝ふた (側溝用)・樹ふた用・U字溝用</td> <td>T-2 用 T-6 用 T-14 用 T-20 用</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>平形</td> </tr> </table>	材 質	形 式	用 途	適用 荷重	メ インバ ーチピ ッチ	蓋 始め のつ き (付着量)	上 面 形 状	鋼製	受付付き、ボルト固定	溝ふた (横断用)	歩行用	細目	()	凹凸形		溝ふた	溝ふた (側溝用)・樹ふた用・U字溝用	T-2 用 T-6 用 T-14 用 T-20 用	普通目	()	平形	ステンレス製	受付付き、ボルト固定	溝ふた (横断用)	歩行用	-	-	凹凸形		溝ふた	溝ふた (側溝用)・樹ふた用・U字溝用	T-2 用 T-6 用 T-14 用 T-20 用	-	-	平形	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>規格等</th> <th colspan="3">耐荷重による種類</th> </tr> <tr> <td>鋼製骨架</td> <td>JIS S 1039 による</td> <td>1種</td> <td>2種</td> <td>3種</td> </tr> <tr> <td>鋼製物品種</td> <td></td> <td>4種</td> <td>5種</td> <td>6種</td> </tr> </table>	種 類	規格等	耐荷重による種類			鋼製骨架	JIS S 1039 による	1種	2種	3種	鋼製物品種		4種	5種	6種	材料等 (21.2.1) <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>用 途</th> <th>適用 荷重</th> <th>メ インバ ーチピ ッチ</th> <th>蓋 始め のつ き (付着量)</th> <th>上 面 形 状</th> </tr> <tr> <td>鋼製</td> <td>受付付き、ボルト固定</td> <td>溝ふた (横断用)</td> <td>歩行用</td> <td>細目</td> <td>()</td> <td>凹凸形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溝ふた</td> <td>溝ふた (側溝用)・樹ふた用・U字溝用</td> <td>T-2 用 T-6 用 T-14 用 T-20 用</td> <td>普通目</td> <td>()</td> <td>平形</td> </tr> </table>	材 質	形 式	用 途	適用 荷重	メ インバ ーチピ ッチ	蓋 始め のつ き (付着量)	上 面 形 状	鋼製	受付付き、ボルト固定	溝ふた (横断用)	歩行用	細目	()	凹凸形		溝ふた	溝ふた (側溝用)・樹ふた用・U字溝用	T-2 用 T-6 用 T-14 用 T-20 用	普通目	()	平形	埋戻し土 (21.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>街きよ、緑石</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>L形側溝</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>U形側溝</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>U形側溝ふた</td> <td>図示による</td> </tr> </table>	種 類	形状、寸法	街きよ、緑石	図示による	L形側溝	図示による	U形側溝	図示による	U形側溝ふた	図示による	街きよ、緑石、側溝 (21.3.1) (表 21.3.1) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>街きよ、緑石</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>L形側溝</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>U形側溝</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>U形側溝ふた</td> <td>図示による</td> </tr> </table>	種 類	形状、寸法	街きよ、緑石	図示による	L形側溝	図示による	U形側溝	図示による	U形側溝ふた	図示による	砂利地業の材料 (21.3.1) ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 砂利事業に用いる材料 (21.3.1) ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂利事業の厚さ ※ 100 (mm) 図示による (21.3.2) ・ 現場打ちの場合のコンクリート材料 (21.3.1) ※ 普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/mm2 スランプ ※ 15cm 又は 19cm ・ 現場打ちの場合の鉄筋 (21.3.1) ※ S D295A 凍上抑制層に用いる材料 (21.3.1) 砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない	23 植栽 及 び 土 壌 改 善 工 事 植栽地の確認 (23.1.3) ・ 行う ・ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 (23.1.3) ・ 行う ・ 行わない 植栽基盤の整備 (23.2.2) (表 23.2.1) (表 23.2.2) <table border="1"> <tr> <th>植 栽</th> <th>工 法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲 (面積)</th> <th>土壌改良剤</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">樹木</td> <td>A 種</td> <td>樹高 12m 以上</td> <td>・ 葉張り部分</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>B 種</td> <td>(※ 100 ・ 120 ・ 150)</td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>C 種</td> <td>樹高 7m 以上 ~ 12m 未満</td> <td>・ 図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D 種</td> <td>(※ 80 ・ 100) 樹高 3m 以上 ~ 7m 未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m 未満 (※ 50 ・ 60)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 芝、地被類</td> <td>B 種</td> <td>※ 20</td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 図示による</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </table>	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良剤	樹木	A 種	樹高 12m 以上	・ 葉張り部分	・ 適用する	B 種	(※ 100 ・ 120 ・ 150)	・ 植栽部分	・ 適用しない	C 種	樹高 7m 以上 ~ 12m 未満	・ 図示による		D 種	(※ 80 ・ 100) 樹高 3m 以上 ~ 7m 未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m 未満 (※ 50 ・ 60)			※ 芝、地被類	B 種	※ 20	・ 植栽部分	・ 適用する				・ 図示による	・ 適用しない	植栽基盤の排水設備 (23.2.2) (暗きよ、開きよ、排水層排水穴等) ・ 設ける (図示による) ・ 設けない 植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ バーク堆肥 ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L)	植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ バーク堆肥 ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L)	植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ バーク堆肥 ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L)																							
	材種	寸法 (mm)			備考																																																																																																																																																																																																																																		
		W	D	H																																																																																																																																																																																																																																			
	流し台	1,200 1,500 1,800	550 600 650	800 850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																		
	コンロ台	600	550 600 650	620 670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																		
	つり戸棚	1,200 900	450	700	市販品																																																																																																																																																																																																																																		
	水切り	1,200 900 600	-	-	市販品 ステンレス製 1段式																																																																																																																																																																																																																																		
	種類	材 質	規格等	耐荷重による種類																																																																																																																																																																																																																																			
	鋼製骨架	標準品	JIS S 1039 による	1種	2種	3種																																																																																																																																																																																																																																	
	鋼製物品種	スプリング式		4種	5種	6種																																																																																																																																																																																																																																	
	材 質	形 式	高 さ (m)	操作 方法	固定 方法	備 考																																																																																																																																																																																																																																	
	アルミニウム合金製	テーパー型 同一断面型		ハンドル式 ロープ式	埋込み式 ベース式 バンド式																																																																																																																																																																																																																																		
	名 称	種 類	適用 荷重	鍵	備 考																																																																																																																																																																																																																																		
	鋼製マンホールふた	水封形 (簡易密閉形 (バックキンス式)・密閉形 (テーパー・バックキンス式)・中ふた付き密閉形 (テーパー・バックキンス式)・)	T-2 用 T-6 用 T-20 用	有り 無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による																																																																																																																																																																																																																																		
		材 質	形 式	用 途	適用 荷重	メ インバ ーチピ ッチ	蓋 始め のつ き (付着量)	上 面 形 状																																																																																																																																																																																																																															
鋼製	受付付き、ボルト固定	溝ふた (横断用)	歩行用	細目	()	凹凸形																																																																																																																																																																																																																																	
	溝ふた	溝ふた (側溝用)・樹ふた用・U字溝用	T-2 用 T-6 用 T-14 用 T-20 用	普通目	()	平形																																																																																																																																																																																																																																	
ステンレス製	受付付き、ボルト固定	溝ふた (横断用)	歩行用	-	-	凹凸形																																																																																																																																																																																																																																	
	溝ふた	溝ふた (側溝用)・樹ふた用・U字溝用	T-2 用 T-6 用 T-14 用 T-20 用	-	-	平形																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	規格等	耐荷重による種類																																																																																																																																																																																																																																					
鋼製骨架	JIS S 1039 による	1種	2種	3種																																																																																																																																																																																																																																			
鋼製物品種		4種	5種	6種																																																																																																																																																																																																																																			
材 質	形 式	用 途	適用 荷重	メ インバ ーチピ ッチ	蓋 始め のつ き (付着量)	上 面 形 状																																																																																																																																																																																																																																	
鋼製	受付付き、ボルト固定	溝ふた (横断用)	歩行用	細目	()	凹凸形																																																																																																																																																																																																																																	
	溝ふた	溝ふた (側溝用)・樹ふた用・U字溝用	T-2 用 T-6 用 T-14 用 T-20 用	普通目	()	平形																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	形状、寸法																																																																																																																																																																																																																																						
街きよ、緑石	図示による																																																																																																																																																																																																																																						
L形側溝	図示による																																																																																																																																																																																																																																						
U形側溝	図示による																																																																																																																																																																																																																																						
U形側溝ふた	図示による																																																																																																																																																																																																																																						
種 類	形状、寸法																																																																																																																																																																																																																																						
街きよ、緑石	図示による																																																																																																																																																																																																																																						
L形側溝	図示による																																																																																																																																																																																																																																						
U形側溝	図示による																																																																																																																																																																																																																																						
U形側溝ふた	図示による																																																																																																																																																																																																																																						
植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良剤																																																																																																																																																																																																																																			
樹木	A 種	樹高 12m 以上	・ 葉張り部分	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																																			
	B 種	(※ 100 ・ 120 ・ 150)	・ 植栽部分	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																			
	C 種	樹高 7m 以上 ~ 12m 未満	・ 図示による																																																																																																																																																																																																																																				
	D 種	(※ 80 ・ 100) 樹高 3m 以上 ~ 7m 未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m 未満 (※ 50 ・ 60)																																																																																																																																																																																																																																					
※ 芝、地被類	B 種	※ 20	・ 植栽部分	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																																			
			・ 図示による	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																			
21 排水 工事	屋外雨水排水	排水管材料 (21.2.1) (表 21.2.1) <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管 (1種)</td> <td>B形管</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>V P</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>V U</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R S - V U</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">硬質ポリ塩化ビニル管継手</td> <td>D V</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>V U 継手</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </table>	材 種	種類・記号	形状	呼び径	備 考	遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	B形管	図示		硬質ポリ塩化ビニル管	V P		図示		V U		図示		R S - V U		図示		硬質ポリ塩化ビニル管継手	D V		図示		V U 継手		図示		路床の産産 (22.1.3) (22.2.2) (22.2.3) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>盛土</td> <td>標準仕様書 表 3.2.1 により A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>凍上抑制層</td> <td>※ 再生クラッシュラン クラッシュラン 切込砂利 砂</td> <td>図示による</td> </tr> </table>	種 別	材 料	厚 さ (mm)	盛土	標準仕様書 表 3.2.1 により A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	図示による	凍上抑制層	※ 再生クラッシュラン クラッシュラン 切込砂利 砂	図示による	透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ (22.2.2) (22.2.3) ・ 図示による 路床安定処理 (22.2.2) (22.2.3) 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 添加材料 (表 22.2.1) 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高伊セメント B 種 ・ フライアッシュセメント B 種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) 添加量を定めるために用いる OBR (22.2.4)	路床の厚さ 図示による (22.3.2) (22.4.1) (22.5.1) (22.6.1) (22.7.1) (22.8.1) 路床材料 (22.1.3) (22.3.3) (表 22.3.1) ※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ※ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗装材料 (22.2.4) 設計基準強度 ※ 18/mm2 スランプ ※ 15cm 又は 18cm 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295A (21.2.1)	舗装の厚さ 図示による (22.3.2) (22.4.1) (22.5.1) (22.6.1) (22.7.1) (22.8.1) 路床材料 (22.1.3) (22.3.3) (表 22.3.1) ※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ※ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	アスファルト舗装 (22.4.2) アスファルト ※ 再生アスファルト (・ 60~80 ・ 80~100) ・ ストレートアスファルト	舗装の厚さ 図示による (22.3.2) (22.4.1) (22.5.1) (22.6.1) (22.7.1) (22.8.1) 路床材料 (22.1.3) (22.3.3) (表 22.3.1) ※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ※ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	アスファルト舗装 (22.4.2) アスファルト ※ 再生アスファルト (・ 60~80 ・ 80~100) ・ ストレートアスファルト	アスファルト舗装 (22.4.2) アスファルト ※ 再生アスファルト (・ 60~80 ・ 80~100) ・ ストレートアスファルト	23 植栽 及 び 土 壌 改 善 工 事 植栽地の確認 (23.1.3) ・ 行う ・ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 (23.1.3) ・ 行う ・ 行わない 植栽基盤の整備 (23.2.2) (表 23.2.1) (表 23.2.2) <table border="1"> <tr> <th>植 栽</th> <th>工 法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲 (面積)</th> <th>土壌改良剤</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">樹木</td> <td>A 種</td> <td>樹高 12m 以上</td> <td>・ 葉張り部分</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>B 種</td> <td>(※ 100 ・ 120 ・ 150)</td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>C 種</td> <td>樹高 7m 以上 ~ 12m 未満</td> <td>・ 図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D 種</td> <td>(※ 80 ・ 100) 樹高 3m 以上 ~ 7m 未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m 未満 (※ 50 ・ 60)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 芝、地被類</td> <td>B 種</td> <td>※ 20</td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 図示による</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </table>	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良剤	樹木	A 種	樹高 12m 以上	・ 葉張り部分	・ 適用する	B 種	(※ 100 ・ 120 ・ 150)	・ 植栽部分	・ 適用しない	C 種	樹高 7m 以上 ~ 12m 未満	・ 図示による		D 種	(※ 80 ・ 100) 樹高 3m 以上 ~ 7m 未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m 未満 (※ 50 ・ 60)			※ 芝、地被類	B 種	※ 20	・ 植栽部分	・ 適用する				・ 図示による	・ 適用しない	植栽基盤の排水設備 (23.2.2) (暗きよ、開きよ、排水層排水穴等) ・ 設ける (図示による) ・ 設けない 植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ バーク堆肥 ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L)	植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ バーク堆肥 ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L)	植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ バーク堆肥 ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L)	植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 植栽基盤の排水設備 (23.2.2) ・ バーク堆肥 ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) ・ 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積 1m2 当たり (L)	植栽の種類、寸法、株立数 図示による (23.3.2) 刈込みものの適用 (数量:) ・ 適用しない 支柱の種類 (23.3.2) ・ 丸太 (間伐材) ・ 真竹 防腐処理方法 (23.3.2) ・ 加圧式防腐処理丸太材 形式 (23.3.3) ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 幹巻き用材料 (23.3.2) 材料 ※ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも 芝の種類 (23.4.2) ※ コウライシバ ・ ノシバ 芝張りの工法 (23.4.3) 平地 ※ 目地張り ・ ベタ張り 法面 ※ 目地張り ・ ベタ張り ※ 目地張り 吹付けの種類 (23.4.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>種子の種類</th> <th>種子の量 (g/m2)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ 洋芝類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類等			種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考	※ 洋芝類						吹付けの種類 (23.4.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>種子の種類</th> <th>種子の量 (g/m2)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ 洋芝類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類等			種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考	※ 洋芝類						吹付けの種類 (23.4.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>種子の種類</th> <th>種子の量 (g/m2)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ 洋芝類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類等			種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考	※ 洋芝類						吹付けの種類 (23.4.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>植物の種類</th> <th>芽立数</th> <th>径</th> <th>単位面積当たりの株数</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類等			植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数									新樹木、移植樹木、芝類の枯保証 (23.3.4) (23.4.7) 新樹木の移植期間 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) ※ 引渡しの日から 1年 ・ 無し 移植樹木の移植期間 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) ※ 引渡しの日から 1年 ・ 無し 植栽基盤材料及び材料 (23.5.2) (23.5.3) ・ 屋上緑化システム ・ 土壌層の厚さ 図示による ・ 排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ:) ・ 透水排水管 ・ 板状成形品 ・ 植込み用土 ※ 改良土 ・ 人口軽量土 ・ 屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類 (23.5.3) 樹種、寸法、株立数 図示による 刈込みものの適用 (数量:) ・ 適用しない 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 図示による 工法 (23.5.4) 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・ 図示による 支柱 (23.5.4) ・ 設置する (形式・図示による) かん水装置 (23.5.4) ・ 設置する (種類・図示による)	植栽の種類、寸法、株立数 図示による (23.3.2) 刈込みものの適用 (数量:) ・ 適用しない 支柱の種類 (23.3.2) ・ 丸太 (間伐材) ・ 真竹 防腐処理方法 (23.3.2) ・ 加圧式防腐処理丸太材 形式 (23.3.3) ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 幹巻き用材料 (23.3.2) 材料 ※ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも 芝の種類 (23.4.2) ※ コウライシバ ・ ノシバ 芝張りの工法 (23.4.3) 平地 ※ 目地張り ・ ベタ張り 法面 ※ 目地張り ・ ベタ張り ※ 目地張り 吹付けの種類 (23.4.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>種子の種類</th> <th>種子の量 (g/m2)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ 洋芝類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類等			種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考	※ 洋芝類						吹付けの種類 (23.4.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>種子の種類</th> <th>種子の量 (g/m2)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ 洋芝類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類等			種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考	※ 洋芝類						吹付けの種類 (23.4.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>植物の種類</th> <th>芽立数</th> <th>径</th> <th>単位面積当たりの株数</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類等			植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数									新樹木、移植樹木、芝類の枯保証 (23.3.4) (23.4.7) 新樹木の移植期間 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) ※ 引渡しの日から 1年 ・ 無し 移植樹木の移植期間 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) ※ 引渡しの日から 1年 ・ 無し 植栽基盤材料及び材料 (23.5.2) (23.5.3) ・ 屋上緑化システム ・ 土壌層の厚さ 図示による ・ 排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ:) ・ 透水排水管 ・ 板状成形品 ・ 植込み用土 ※ 改良土 ・ 人口軽量土 ・ 屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類 (23.5.3) 樹種、寸法、株立数 図示による 刈込みものの適用 (数量:) ・ 適用しない 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 図示による 工法 (23.5.4) 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・ 図示による 支柱 (23.5.4) ・ 設置する (形式・図示による) かん水装置 (23.5.4) ・ 設置する (種類・図示による)	植栽の種類、寸法、株立数 図示による (23.3.2) 刈込みものの適用 (数量:) ・ 適用しない 支柱の種類 (23.3.2) ・ 丸太 (間伐材) ・ 真竹 防腐処理方法 (23.3.2) ・ 加圧式防腐処理丸太材 形式 (23.3.3) ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 幹巻き用材料 (23.3.2) 材料 ※ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも 芝の種類 (23.4.2) ※ コウライシバ ・ ノシバ 芝張りの工法 (23.4.3) 平地 ※ 目地張り ・ ベタ張り 法面 ※ 目地張り ・ ベタ張り ※ 目地張り 吹付けの種類 (23.4.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>種子の種類</th> <th>種子の量 (g/m2)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ 洋芝類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類等			種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考	※ 洋芝類						吹付けの種類 (23.4.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>種子の種類</th> <th>種子の量 (g/m2)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ 洋芝類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類等			種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考	※ 洋芝類						吹付けの種類 (23.4.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>植物の種類</th> <th>芽立数</th> <th>径</th> <th>単位面積当たりの株数</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類等			植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数									新樹木、移植樹木、芝類の枯保証 (23.3.4) (23.4.7) 新樹木の移植期間 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) ※ 引渡しの日から 1年 ・ 無し 移植樹木の移植期間 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) ※ 引渡しの日から 1年 ・ 無し 植栽基盤材料及び材料 (23.5.2) (23.5.3) ・ 屋上緑化システム ・ 土壌層の厚さ 図示による ・ 排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ:) ・ 透水排水管 ・ 板状成形品 ・ 植込み用土 ※ 改良土 ・ 人口軽量土 ・ 屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類 (23.5.3) 樹種、寸法、株立数 図示による 刈込みものの適用 (数量:) ・ 適用しない 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 図示による 工法 (23.5.4) 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・ 図示による 支柱 (23.5.4) ・ 設置する (形式・図示による) かん水装置 (23.5.4) ・ 設置する (種類・図示による)
	材 種	種類・記号	形状	呼び径	備 考																																																																																																																																																																																																																																		
	遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	B形管	図示																																																																																																																																																																																																																																			
	硬質ポリ塩化ビニル管	V P		図示																																																																																																																																																																																																																																			
		V U		図示																																																																																																																																																																																																																																			
		R S - V U		図示																																																																																																																																																																																																																																			
	硬質ポリ塩化ビニル管継手	D V		図示																																																																																																																																																																																																																																			
		V U 継手		図示																																																																																																																																																																																																																																			
	種 別	材 料	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																				
	盛土	標準仕様書 表 3.2.1 により A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	図示による																																																																																																																																																																																																																																				
	凍上抑制層	※ 再生クラッシュラン クラッシュラン 切込砂利 砂	図示による																																																																																																																																																																																																																																				
	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良剤																																																																																																																																																																																																																																		
	樹木	A 種	樹高 12m 以上	・ 葉張り部分	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																																		
		B 種	(※ 100 ・ 120 ・ 150)	・ 植栽部分	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																		
		C 種	樹高 7m 以上 ~ 12m 未満	・ 図示による																																																																																																																																																																																																																																			
D 種		(※ 80 ・ 100) 樹高 3m 以上 ~ 7m 未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m 未満 (※ 50 ・ 60)																																																																																																																																																																																																																																					
※ 芝、地被類	B 種	※ 20	・ 植栽部分	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																																			
			・ 図示による	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																			
種類等																																																																																																																																																																																																																																							
種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考																																																																																																																																																																																																																																					
※ 洋芝類																																																																																																																																																																																																																																							
種類等																																																																																																																																																																																																																																							
種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考																																																																																																																																																																																																																																					
※ 洋芝類																																																																																																																																																																																																																																							
種類等																																																																																																																																																																																																																																							
種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考																																																																																																																																																																																																																																					
※ 洋芝類																																																																																																																																																																																																																																							
種類等																																																																																																																																																																																																																																							
植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数																																																																																																																																																																																																																																				
種類等																																																																																																																																																																																																																																							
種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考																																																																																																																																																																																																																																					
※ 洋芝類																																																																																																																																																																																																																																							
種類等																																																																																																																																																																																																																																							
種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考																																																																																																																																																																																																																																					
※ 洋芝類																																																																																																																																																																																																																																							
種類等																																																																																																																																																																																																																																							
植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数																																																																																																																																																																																																																																				
種類等																																																																																																																																																																																																																																							
種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考																																																																																																																																																																																																																																					
※ 洋芝類																																																																																																																																																																																																																																							
種類等																																																																																																																																																																																																																																							
種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考																																																																																																																																																																																																																																					
※ 洋芝類																																																																																																																																																																																																																																							
種類等																																																																																																																																																																																																																																							
植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数																																																																																																																																																																																																																																				
工務	排水工事	排水管材料 (21.2.1) (表 21.2.1) <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管 (1種)</td> <td>B形管</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>V P</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>V U</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R S - V U</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">硬質ポリ塩化ビニル管継手</td> <td>D V</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>V U 継手</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </table>	材 種	種類・記号	形状	呼び径	備 考	遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	B形管	図示		硬質ポリ塩化ビニル管	V P		図示		V U		図示		R S - V U		図示		硬質ポリ塩化ビニル管継手	D V		図示		V U 継手		図示		路床の産産 (22.1.3) (22.2.2) (22.2.3) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>盛土</td> <td>標準仕様書 表 3.2.1 により A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>凍上抑制層</td> <td>※ 再生クラッシュラン クラッシュラン 切込砂利 砂</td> <td>図示による</td> </tr> </table>	種 別	材 料	厚 さ (mm)	盛土	標準仕様書 表 3.2.1 により A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	図示による	凍上抑制層	※ 再生クラッシュラン クラッシュラン 切込砂利 砂	図示による	透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ (22.2.2) (22.2.3) ・ 図示による 路床安定処理 (22.2.2) (22.2.3) 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 添加材料 (表 22.2.1) 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高伊セメント B 種 ・ フライアッシュセメント B 種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) 添加量を定めるために用いる OBR (22.2.4)	路床の厚さ 図示による (22.3.2) (22.4.1) (22.5.1) (22.6.1) (22.7.1) (22.8.1) 路床材料 (22.1.3) (22.3.3) (表 22.3.1) ※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ※ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗装材料 (22.2.4) 設計基準強度 ※ 18/mm2 スランプ ※ 15cm 又は 18cm 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295A (21.2.1)	舗装の厚さ 図示による (22.3.2) (22.4.1) (22.5.1) (22.6.1) (22.7.1) (22.8.1) 路床材料 (22.1.3) (22.3.3) (表 22.3.1) ※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ※ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	アスファルト舗装 (22.4.2) アスファルト ※ 再生アスファルト (・ 60~80 ・ 80~100) ・ ストレートアスファルト	舗装の厚さ 図示による (22.3.2) (22.4.1) (22.5.1) (22.6.1) (22.7.1) (22.8.1) 路床材料 (22.1.3) (22.3.3) (表 22.3.1) ※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ※ 再生粒度調整砕石 																																																																																																																																																																																					
材 種	種類・記号	形状	呼び径	備 考																																																																																																																																																																																																																																			
遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	B形管	図示																																																																																																																																																																																																																																				
硬質ポリ塩化ビニル管	V P		図示																																																																																																																																																																																																																																				
	V U		図示																																																																																																																																																																																																																																				
	R S - V U		図示																																																																																																																																																																																																																																				
硬質ポリ塩化ビニル管継手	D V		図示																																																																																																																																																																																																																																				
	V U 継手		図示																																																																																																																																																																																																																																				
種 別	材 料	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																					
盛土	標準仕様書 表 3.2.1 により A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	図示による																																																																																																																																																																																																																																					
凍上抑制層	※ 再生クラッシュラン クラッシュラン 切込砂利 砂	図示による																																																																																																																																																																																																																																					

鉄筋工事仕様書 No. 1

この仕様書は、国土交通大臣官房官営庁館部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）5章鉄筋工事により作成する。この仕様書及び図面に明示なき場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章鉄筋工事による。

鉄筋の折曲げ基準



- 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。
- 90°未満の折曲げの内法直径は、特記による。

異形鉄筋のフック

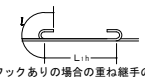
- 次の部分に使用する異形鉄筋の末端部には、フックを付ける。
- 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合。（下図（a）の●印で示す鉄筋）
 - 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合。（基礎梁を除く）（下図（b）の●印で示す鉄筋）
 - 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む。）
 - 杭基礎のベース筋
 - 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

鉄筋の継手及び定着

- 鉄筋の継手
鉄筋の重ね継手は、次による。
なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
1) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d（軽量コンクリートの場合は50d）又は下表の重ね継手長さのうち大きい値とする。

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L _{1h} (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD345	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	30d
	30, 33, 36	35d	30d
SD390	18	45d	35d
	21	40d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

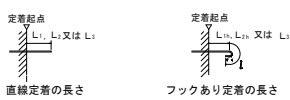
- L₁、L_{1h}: 重ね継手の長さ、フックありの重ね継手の長さ
- L_{1h} は、下図に示すようにフック部分を含めない。
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



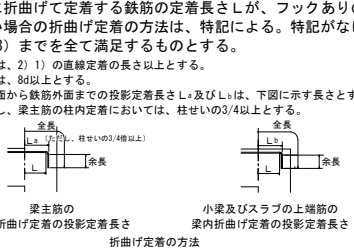
- 鉄筋の定着
1) 鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、下表による。

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	直線定着の長さ				フックあり定着の長さ	
		L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	L _{1h}	L _{2h}
SD295	18	45d	40d	35d	10d	30d	25d
	21	40d	35d	30d	10d	25d	20d
	24, 27	35d	30d	25d	150mm	25d	20d
	30, 33, 36	35d	30d	25d	150mm	25d	20d
SD345	18	45d	40d	35d	10d	30d	25d
	21	40d	35d	30d	10d	25d	20d
	24, 27	35d	30d	25d	150mm	25d	20d
	30, 33, 36	35d	30d	25d	150mm	25d	20d
SD390	18	45d	40d	35d	10d	30d	25d
	21	45d	40d	35d	10d	30d	25d
	24, 27	45d	40d	35d	150mm	35d	30d
	30, 33, 36	40d	35d	30d	150mm	30d	25d

- L₁、L₂、L₃、L₄: (注) 2. から 4. まで以外の直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ
- L_{1h}、L_{2h}: 割取破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
- L₃: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
- L₄: 小梁の下端筋のフックありの定着の長さ。
- フックありの定着の場合は、下図に示すようにフック部分 1 を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



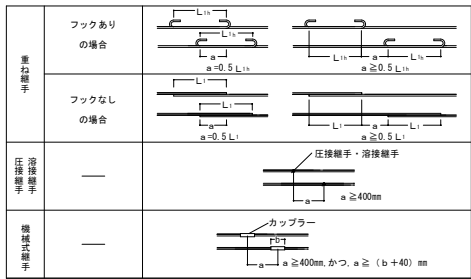
- 定着の方法
仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さとして、フックありの定着の長さを確保できない場合は、折曲げ定着の方法は、特記による。特記がなければ、下記の(1)から(3)までを全て満足するものとする。
(1) 全長は、2) 1) の直線定着の長さ以上とする。
(2) 余長は、8d以上とする。
(3) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さ L₁ 及び L_{1h} は、下図に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4以上とする。



- 鉄筋の投影定着長さ
投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L ₁	L _{1h}	(注)
SD295	18	20d	15d	1. L ₁ : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。） 2. L _{1h} : 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち梁及び片持ちスラブを除く。） 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
	21	15d	15d	
	24, 27	15d	15d	
	30, 33, 36	15d	15d	
SD345	18	20d	20d	
	21	20d	15d	
	24, 27	20d	15d	
	30, 33, 36	20d	20d	
SD390	18	20d	20d	
	21	20d	20d	
	24, 27	20d	20d	
	30, 33, 36	20d	15d	

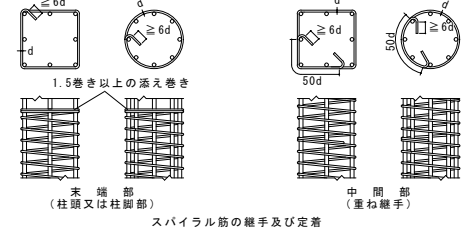
- 隣り合う継手の位置
隣り合う継手の位置は、下図による。ただし、スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋の場合は除く。なお、先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に設ける場合は、特記による。



- 溶接金網の継手及び定着
L₁ は 1.) 2.)、L_{1h} は 2.) による。



- スパイラル筋の継手及び定着
スパイラル筋の継手及び定着

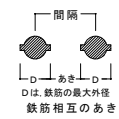


鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

- 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ (mm)
柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

構造部分の種類	最小かぶり厚さ (mm)	
	土に接しない部分	土に接する部分
スラブ、耐力壁以外の壁	仕上がりあり 20	仕上がりなし 30
柱、梁、耐力壁	仕上がりあり 30	仕上がりなし 30
換気、耐圧スラブ	仕上がりあり 30	仕上がりなし 40
換気、耐圧スラブ	仕上がりあり 40	仕上がりなし 40
柱、スラブ、壁	40	60
基礎、換気、耐圧スラブ	60	60
煙突等高温を受ける部分	60	60

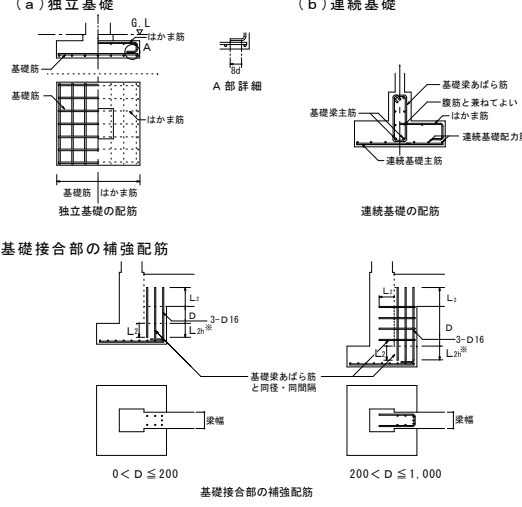
- 鉄筋相互のあき
1) 次の値のうち最大のもの以上とする。
(1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(2) 25mm
(3) 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍
2) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきも、同様とする。
3) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
4) 鉄筋の表示記号



記号	丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ
記号	●	×	○	●	○	○	○	○	○

基礎の配筋

- 直接基礎の配筋
(a) 独立基礎 (b) 連続基礎

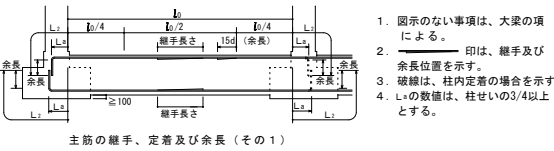


基礎梁の配筋

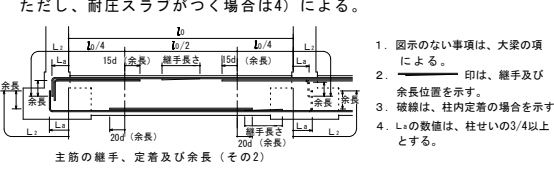
- 基礎梁主筋の継手、定着及び余長
1) 一般事項
(1) 梁筋は、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。
(2) 梁筋を柱内に定着する場合は、梁の配筋 1.) 1) (2) による。



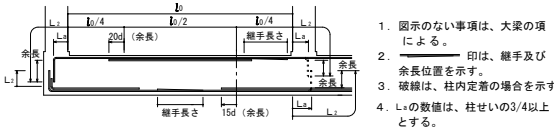
- 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長
主筋の継手、定着及び余長 (その1)



- 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長
ただし、耐圧スラブが付く場合は 4.) による。
主筋の継手、定着及び余長 (その2)

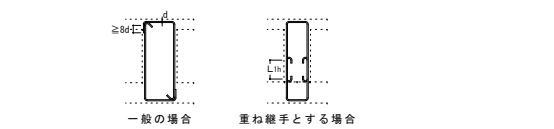


- 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長
主筋の継手、定着及び余長 (その3)

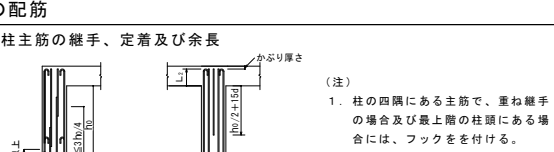


柱の配筋

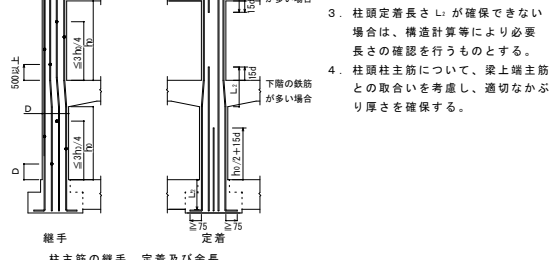
- 柱主筋の継手、定着及び余長
柱主筋の継手、定着及び余長



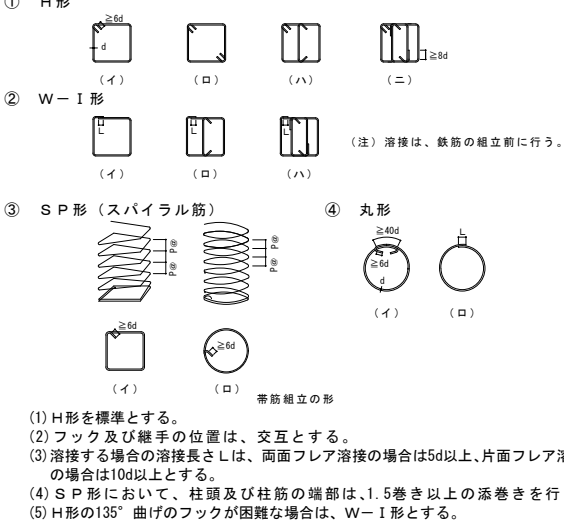
- 柱主筋の継手、定着及び余長
柱主筋の継手、定着及び余長



- 柱主筋の継手、定着及び余長
柱主筋の継手、定着及び余長

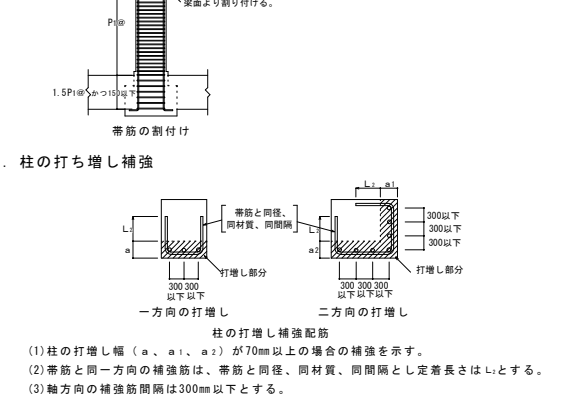


2. 帯筋組立の形及び割付け



- H形を標準とする。
2) フック及び継手の位置は、交互とする。
3) 溶接する場合の溶接長さ L は、両面フレア溶接の場合は 5d 以上、片面フレア溶接の場合は 10d 以上とする。
4) S 形において、柱頭及び柱筋の端部は、1.5 巻き以上の添巻きを行う。
5) H 形の 135° 曲げのフックが困難な場合は、W 形とする。

4. 柱の打ち増し補強



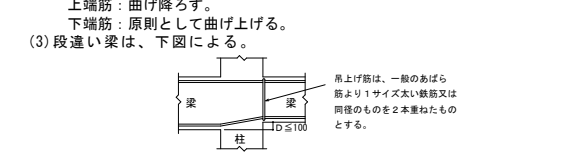
- 柱の打ち増し幅 (a、a₁、a₂) が 70mm 以上の場合は補強を示す。
2) 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さは L₁ とする。
3) 軸方向の補強筋間隔は 300mm 以下とする。

梁の配筋

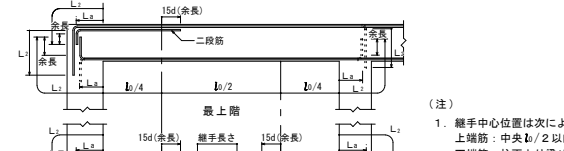
- 大梁主筋の継手、定着及び余長
1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
(1) 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することができる。
ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。



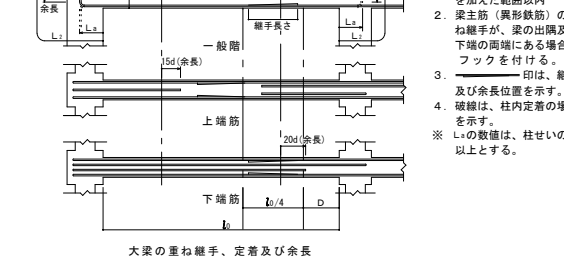
- ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長
1) 継手中心位置は次による。
上端筋: 中央 b/2 以内
下端筋: 柱面よりせいで (D) 以上とし、b/4 を加えた範囲以内
2) 梁主筋 (異形鉄筋) の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合、フックを付ける。
3) 印は、継手及び余長位置を示す。
4) 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L₁ の数値は、柱せいの 3/4 以上とする。



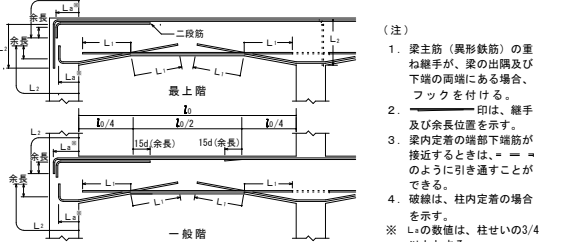
- ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長
1) 梁の打ち増し幅 (a、a₁、a₂) が 70mm 以上の場合は補強を示す。
2) あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同材質、同間隔とし、定着長さは L₁ とする。



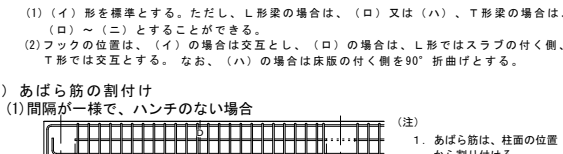
- ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長
1) 梁の打ち増し幅 (a、a₁、a₂) が 70mm 以上の場合は補強を示す。
2) あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同材質、同間隔とし、定着長さは L₁ とする。



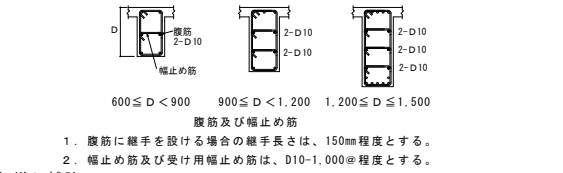
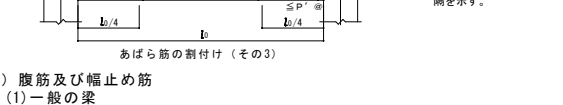
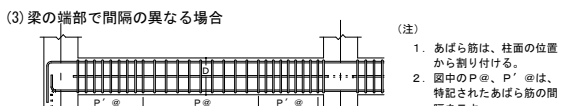
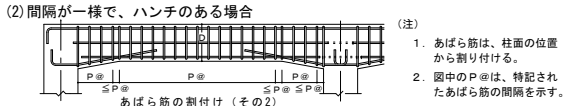
3) ハンチのある場合の定着及び余長



- あばら筋 (小梁、片持ち梁、基礎梁含む) の組立の形及び割付け等
1) あばら筋組立の形及びフックの位置
あばら筋組立の形
(1) (イ) 形を標準とする。ただし、L 形梁の場合は、(ロ) 又は (ハ)、T 形梁の場合は、(ロ) ~ (ニ) とすることができる。
(2) フックの位置は、(イ) の場合は交互とし、(ロ) の場合は、L 形ではスラブの付く側、T 形では交互とする。なお、(ハ) の場合は床版の付く側を 90° 折曲げとする。

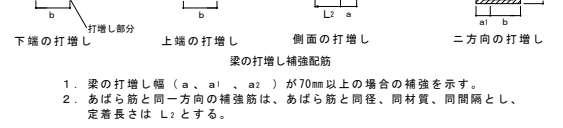


- あばら筋の割付け (1) 間隔が一様で、ハンチのない場合
あばら筋の割付け (その1)

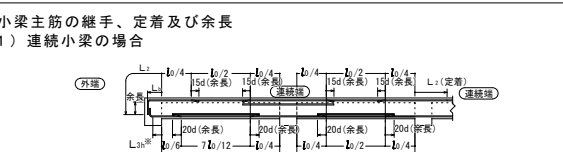


- 鉄筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm 程度とする。
2) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10~1,000φ 程度とする。

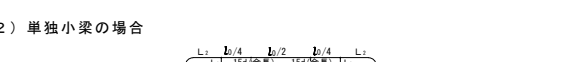
2. 打ち増し補強



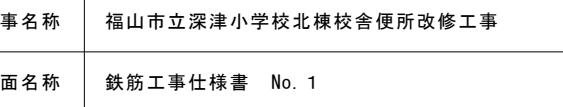
- 小梁及び片持ち梁
1) 小梁主筋の継手、定着及び余長
1) 連続小梁の場合



- 連続小梁の場合 (Continuous beam case). Diagrams show the reinforcement details for continuous beams."/>



- 連続小梁の場合 (Continuous beam case). Diagrams show the reinforcement details for continuous beams."/>



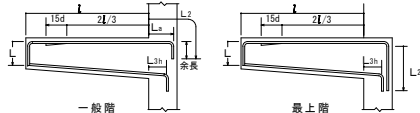
- 連続小梁の場合 (Continuous beam case). Diagrams show the reinforcement details for continuous beams."/>

工事名称	福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事	
図面名称	鉄筋工事仕様書 No. 1	

鉄筋工事仕様書 No. 2

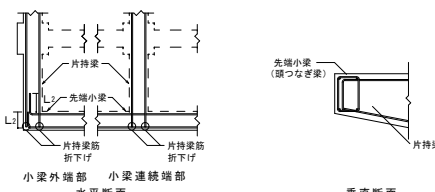
2. 片持梁主筋の継手、定着及び余長

1) 先端に小梁のない場合



- (注)
- 印は、余長位置を示す。
 - 先端の折曲げ長さLは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
 - 図示のない事項は、大梁の項による。
 - L, L1の数值は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

2) 先端に小梁がある場合



- (注)
- 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
 - 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
 - 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

(注) 縦筋の配筋順序は、規定しない。

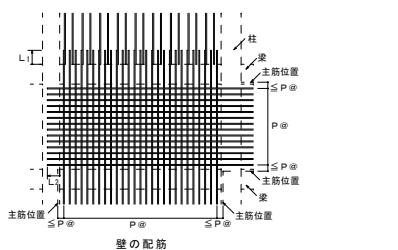
2) 片持ちスラブ階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

片持ちスラブ階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦筋 D13-200@ ダブル	180	KA1 KA3
	横筋 D10-200@ ダブル		
KW2	縦筋 D13-150@ ダブル	200	KA2 KA4
	横筋 D10-200@ ダブル		

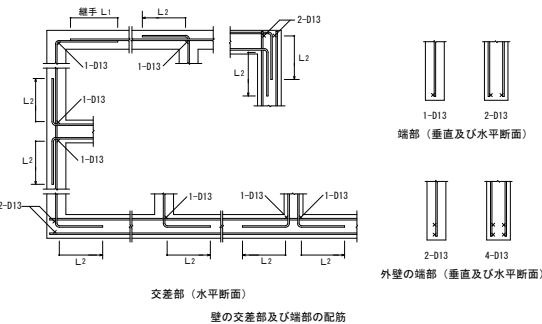
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

2. 壁の継手及び定着



- (注)
- 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
 - 壁配筋の重ね継手はL1、定着長さはL2とする。
 - 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
 - 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはいけない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。

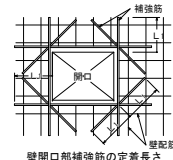


4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

壁開口部補強筋 (A形)		壁開口部補強筋 (B形)	
壁の種類	補強筋	壁の種類	補強筋
W12, W15	1-D13 1-D13	W12, W15	2-D13 1-D13
W18, W20	2-D13 2-D13	W18, W20	4-D13 2-D13

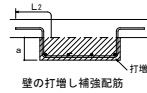
2) 壁開口部補強の定着長さは、下図による。



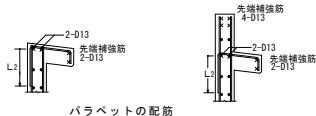
3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げるにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強配筋

壁の打増し厚さ (a) が50mm以上の場合の補強を示す。



6. パラペットの配筋



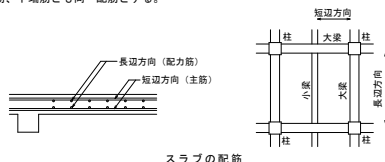
スラブの配筋

1. スラブの基準配筋

1) スラブの基準配筋

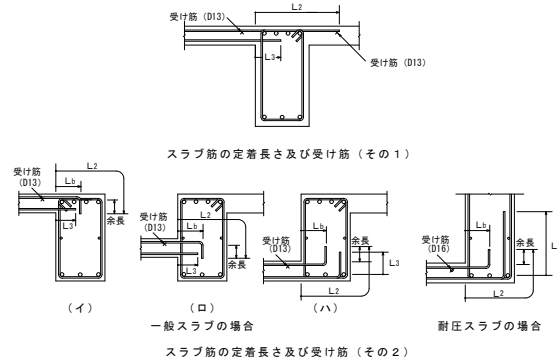
配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域		長辺方向 (配力筋) 全域		配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域		長辺方向 (配力筋) 全域	
	長さ	径	長さ	径		長さ	径	長さ	径
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10, D13-150@	D10-150@	D10-150@	S 9	同上	D10-200@
S 2	同上	D13-150@	S 10	D10, D13-200@	D10, D13-200@	S 11	同上	D10-200@	
S 3	同上	D10, D13-150@	S 12	同上	D10-250@				
S 4	D13-150@	D13-150@	S 13	D10-200@	D10-200@				
S 5	同上	D10, D13-150@	S 14	同上	D10-250@				
S 6	同上	D10-150@							
S 7	D10, D13-150@	D10, D13-150@							

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



1. 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
2. 鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。

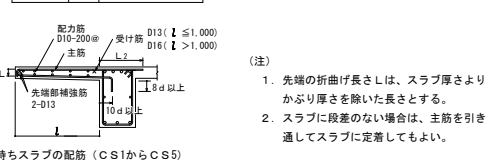
2. スラブ筋の定着及び受け筋



3. 片持ちスラブの基準配筋

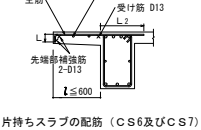
1) 片持ちスラブの基準配筋

配筋種別	主筋		配筋種別	主筋	
	長さ	径		長さ	径
CS1	上 D13-100@	D10-200@	CS5	上 D10-200@	D10-400@
	下 D13-200@	—		下 D10, D13-200@	—
CS2	上 D13-150@	—	CS6	上 —	—
	下 D13-300@	—		下 D10-200@	—
CS3	上 D10, D13-150@	—	CS7	上 —	—
	下 D10, D13-300@	—		下 —	—
CS4	上 D10, D13-200@	—			
	下 D10-200@	—			



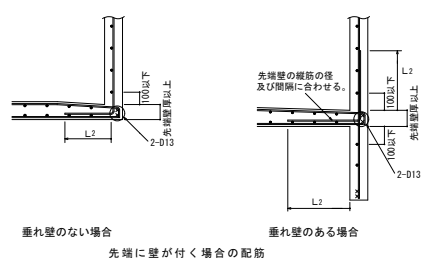
- (注)
- 先端の折曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
 - スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

片持ちスラブの配筋 (CS1からCS5)



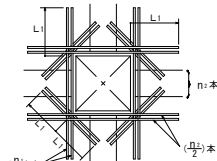
片持ちスラブの配筋 (CS6及びCS7)

4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。



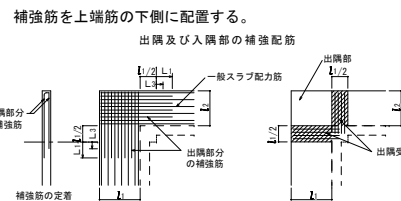
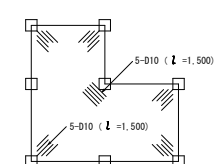
5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口の最大径が700mm以下の場合に限る。)

- スラブ開口部によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (L=2L1) シングルを上下筋の内側に配筋する。
- スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。



6. 屋根スラブの補強

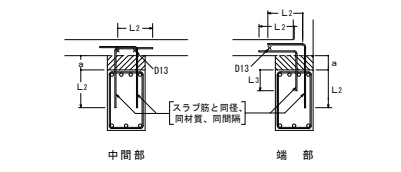
屋根スラブの出隅部及び入隅部



- (注) 1. L1 ≥ L2とする。 (注) 1. L1 ≥ L2とする。

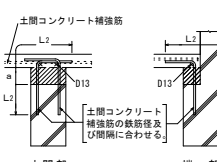
7. スラブの打継ぎ補強等

1) 土間スラブの打継ぎ補強



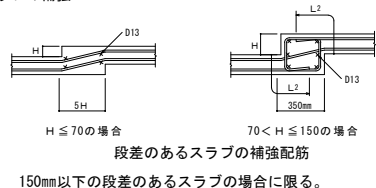
(注) 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強を示す。

2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



- (注) 1. 土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
2. aが300mm以下の場合に限る。

8. 段差のあるスラブの補強



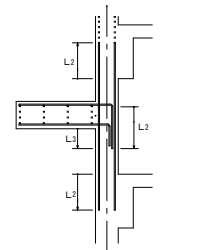
150mm以下の段差のあるスラブの場合に限る。

階段の配筋

1. 片持ちスラブ階段

片持ちスラブ階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

配筋種別	KA 1	KA 2
配筋図		
配筋種別	KA 3	KA 4
配筋図		



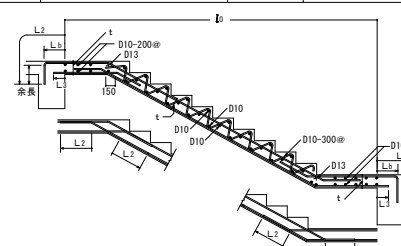
片持ちスラブ階段配筋の定着

- (注)
- 壁配筋は、片持ちスラブ階段を受ける壁の基準配筋による。
 - 階段主筋は、壁の中心線を超えてから縦に下ろす。
 - スラブ配筋の継手及び定着の長さは、【鉄筋の定着長さ】のL1とする。

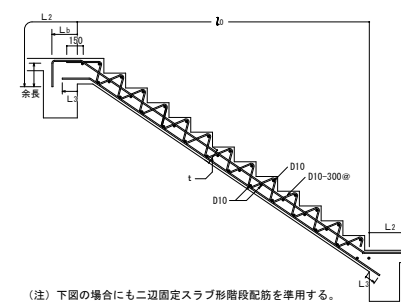
2. 二辺固定スラブ階段

二辺固定スラブ階段の基準配筋

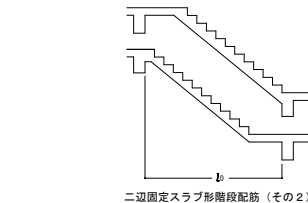
配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)		配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)	
	長さ	径		長さ	径
KB 1	D13-200@	D10-150@	KB 5	D16-150@	D16-125@
	D13-150@	D16-125@			
KB 2	D13-150@	D16-100@	KB 7	D16-100@	D16-100@
	D13-100@	D16-100@			
KB 3	D13-100@				
KB 4	D13, D16-150@				



二辺固定スラブ階段配筋 (その1)



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ階段配筋を準用する。

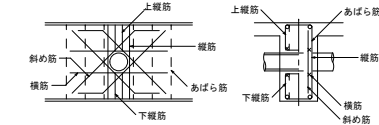


二辺固定スラブ階段配筋 (その2)

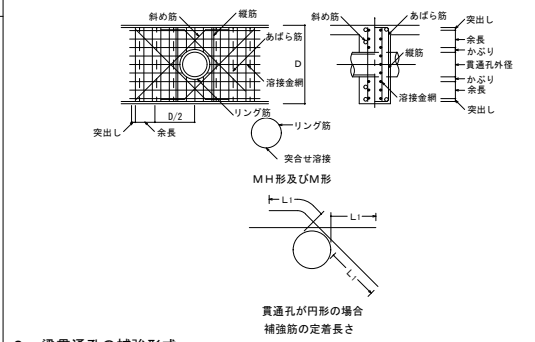
梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

- 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
- 孔の上下方向の位置は梁せいの中心付近とし、梁中央部においては梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりD/3の範囲に孔を設けてはならない。
- 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付梁は除く。
- 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 縦筋及び上下横筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出は10mm以上とする。
- 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



H形



2. 梁貫通孔の補強形式

配筋種別	H形配筋		配筋図
	斜め筋	縦筋	
H 1	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16	2-2-D13	
H 5	4-2-D16	—	
H 6	4-2-D19	4-2-D13	
H 7	4-2-D22	2-2-D13	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M 2	4-2-D13	なし	
M 3	4-2-D13	なし	
M 4	6-2-D13	2-6φ-100@	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

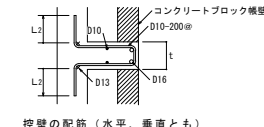
配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH 2	2-2-D13	なし		
MH 3	2-2-D13	なし		
MH 4	4-2-D13	2-6φ-100@		
MH 5	4-2-D16	なし		
MH 6	4-2-D16	なし		
MH 7	4-2-D19	4-2-D13	2-6φ-100@	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

- (注) 1. 大抵認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

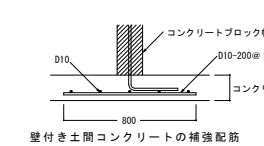
3. コンクリートブロック帳壁との取合い

1) 控壁の配筋



控壁の配筋 (水平、垂直とも)

2) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強



壁付土間コンクリートの補強配筋

工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事

図面名称 鉄筋工事仕様書 No. 2

福 山 市 工 事 区 分 表

- 区分は設計図書に明記なき限り、※印のついたものを適用する。
- 複数の区分が適用となる場合は、関連工事別に施工する。

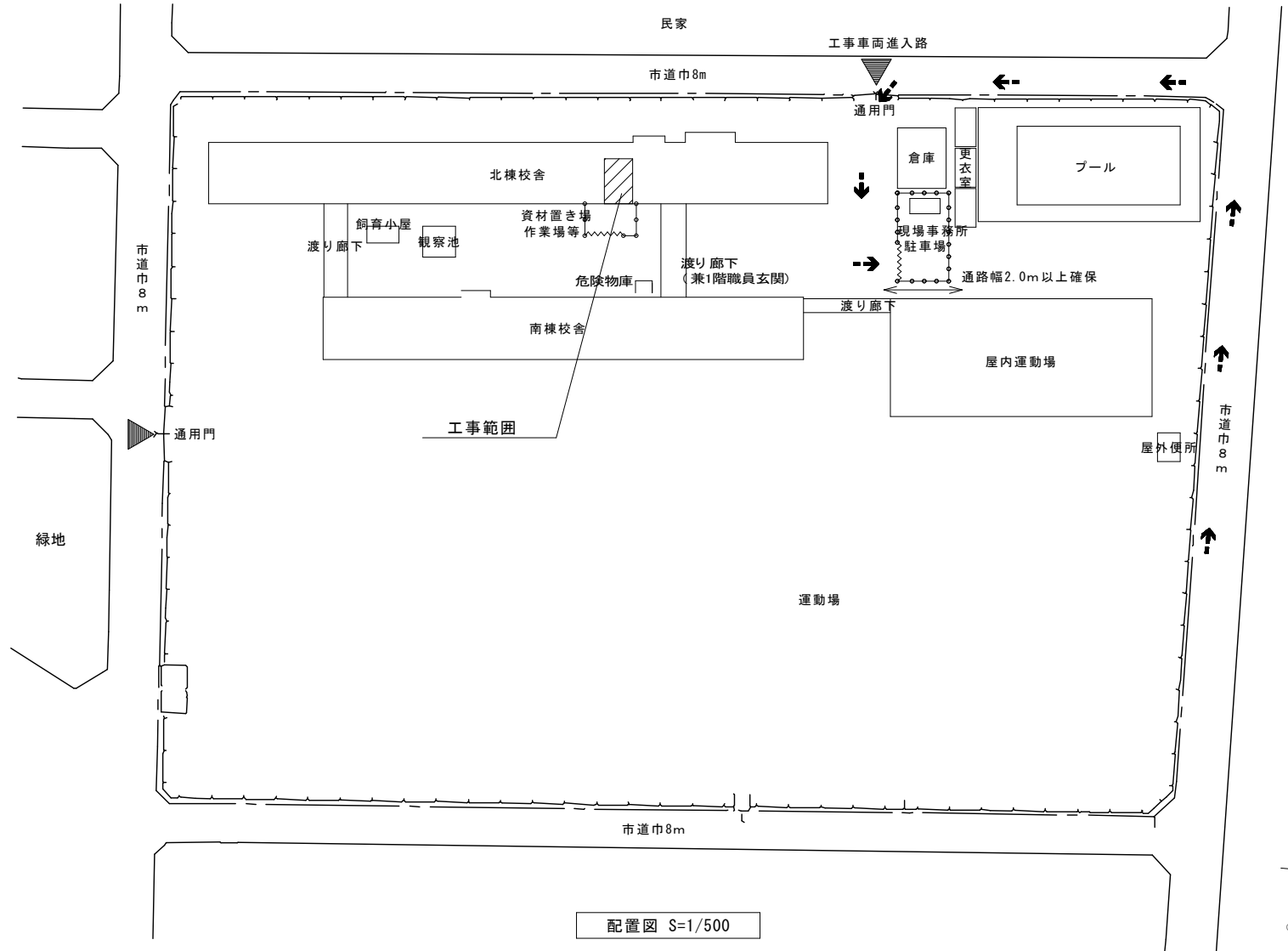
分類	項目	区分						分類	項目	区分																	
		建	電	給	空	ガ	昇			建	電	給	空	ガ	昇												
1	設備基礎	※						9	1. 湧水槽、蓄熱槽等のRC造躯体、断熱層、内外の防水及び仕上げ	※							13	1. 昇降路内ピットの防水、集水槽の製作及び設置	※								
1 設備基礎	1. 建物内の機器類の基礎	※							2. 同上マンホール蓋及びタラップの設置	※								2. 昇降路内点検用タラップの製作及び設置	※								
	2. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置		※	※	※	※	※		3. 屋内の排水溝、配管ピット、配線ピットの内外の防水及び仕上げ	※								3. 出入り口三方枠取付け用下地鉄骨の設置（S造に限る）	※								
	3. 建物外部の機器類の基礎	※	※	※	※	※	※		4. 同上付属蓋類及びタラップの設置	※								4. 出入り口扉三方枠、畜槽の製作及び設置						※			
	4. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置		※	※	※	※	※		5. 同上内設備配管類の架台の製作及び設置		※	※	※	※	※			5. 同上枠廻り空隙の充填及び補修	※								
	5. 外灯基礎の製作及び設置		※						6. 屋内マンホールのRC造躯体、錆蓋及び化粧蓋の設置	※								6. 軌条、中間ビーム、ブラケット等昇降路内の鋼製部材一式の製作及び設置（S造に限る）	※						※		
2 設備機器取付下地	1. 設備機器類の取付け用インサート及び吊りボルトの製作及び設置		※	※	※	※	※		7. 屋外マンホールのRC造躯体、錆蓋の設置	※	※	※	※	※			7. 軌条、中間ビーム、ブラケット等昇降路内の鋼製部材一式の製作及び設置（S造を除く）								※		
	2. 鉄骨造の設備機器類吊り下げ用取付け金物の製作及び設置	※	※	※	※	※	※		8. 同上化粧蓋の仕上	※							8. 機械室天井フックの製作及び設置（S造に限る）	※									
	3. 設備機器類の取付け用下地補強	※	※	※	※	※	※		9. 浄化槽設備のRC造躯体、内外防水及び仕上げ	※	※						9. 機械室天井フックの製作（S造を除く）							※			
									10. 同上マンホール蓋及びタラップの設置			※						10. 同上の設置	※								
									11. FRP製浄化槽等の設置（RC造躯体は除く）			※						11. ホール押し釘、インジケーター、鋼索等の躯体開口の設置及び補強	※								
3 躯体貫通	1. 地中梁の連通管、通気管及び人孔の製作、設置及び開口補強	※							12. 排水槽、浄化槽等の内外装置の設置			※					12. 昇降路、ピット内の保守用コンセントの設置		※								
	2. 地下室等の二重壁内の水抜き管の製作及び設置	※							13. 排水槽、蓄熱槽等液面電極取付け座の設置		※					13. 昇降機の制御盤及び二次側電気配管配線工事								※			
	3. S、SRC造梁貫通鋼管スリーブの製作、設置及び開口補強	※							14. 同上各種減減水管、液面電極取付け		※					14. 同上一次側電気配管配線工事		※									
	4. RC造梁貫通スリーブの製作及び設置	※	※	※	※	※	※		15. 同上各種各種減減水管、液面電極取付け		※					15. 昇降路内の換気設備の設置				※							
	5. 同上開口補強	※							16. 同上電気配管配線工事		※					16. 昇降路内の煙感知器の設置		※									
	6. 床や壁の貫通、半貫通部分のスリーブ、箱等の製作及び設置	※	※	※	※	※	※								17. 昇降路内の換気設備及び煙感知器の電気配管配線工事		※										
	7. 同上開口補強	※													18. 昇降路外の遠方操作盤及び警報監視インターホン用電気配管配線工事		※										
	8. 各貫通穴あけ箇所の空隙充填及び補修	※	※	※	※	※	※								19. 遠方操作盤、警報監視盤及びインターホンの設置及び調整										※		
	9. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理	※	※	※	※	※	※																				
4 躯体以外の貫通・開口	1. 工場製作の床パネル、間仕切り壁類の開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強（下地補強を含む）	※																									
	2. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴う開口及び開口補強（下地補強を含む）	※																									
	3. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴わない開口	※	※	※	※	※	※																				
	4. 間仕切り壁開口部の空隙充填及び補修	※	※	※	※	※	※																				
	5. フロック、れんがへの設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強	※																									
	6. ALC版、押出し成形セメント板、PC版類の設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強	※																									
	7. 床や壁の石材面の設備機器取付け用開口	※																									
	8. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理	※	※	※	※	※	※																				
	9. ユニットの換気扇の開口（メーカー規格の場合）	※																									
5 点検口・ガラリ	1. 床、壁及び天井の点検口の製作及び設置	※																									
	2. 外壁ガラリのチャンバーの製作及び設置	※		※		※																					
	3. 内壁等に取りつく吹出口、吸込口の製作及び設置					※																					
	4. 同上化粧用特殊ガラリの製作及び設置	※				※																					
	5. 各室建具ガラリの製作及び設置	※																									



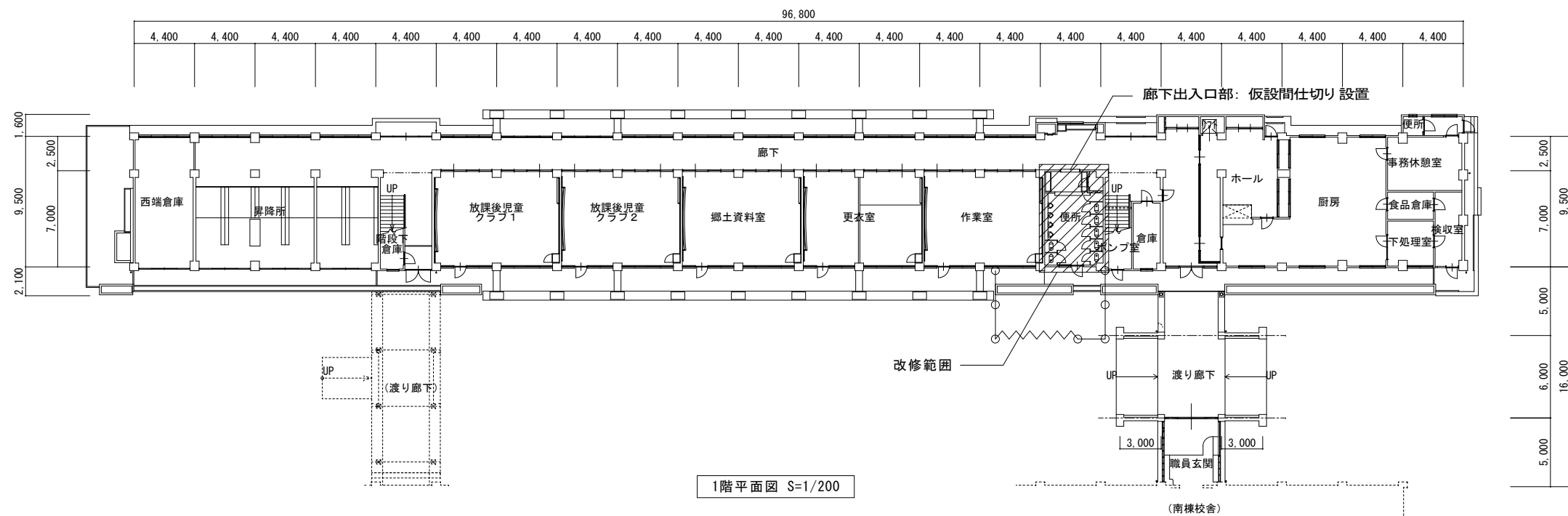


工事場所：福山市東深津二丁目5番1号

敷地案内図 Noscale



配置図 S=1/500



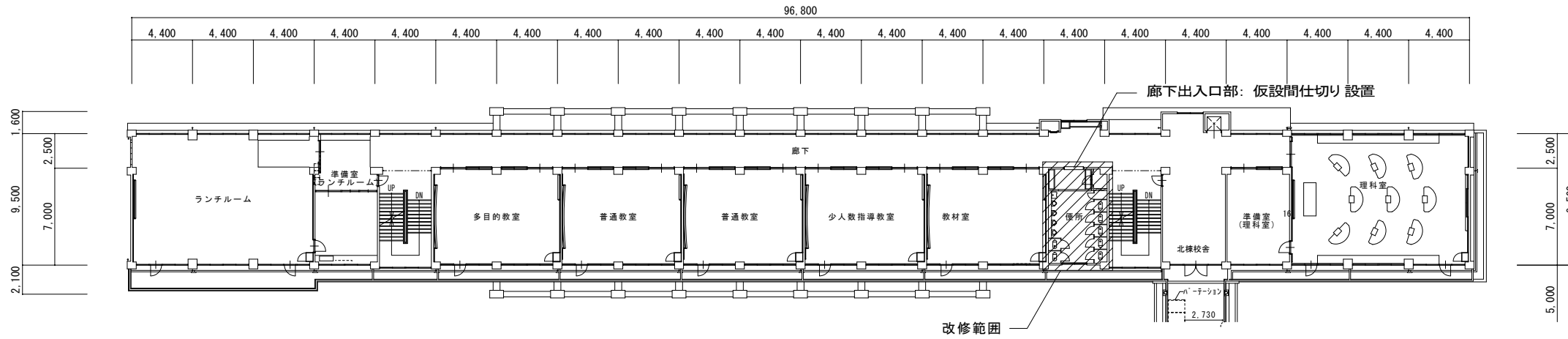
1階平面図 S=1/200

仮設工事凡例

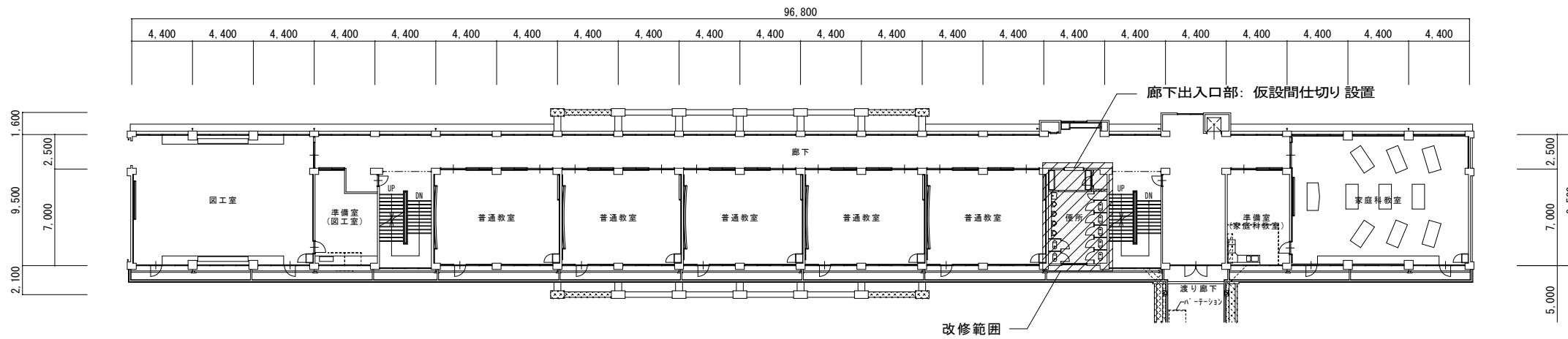
記号	内容
	改修範囲
	仮囲い：成形鋼板 H=2000
	キャストターゲット W=6000 H=1800
	工事車両進入路

※現場事務所等は、学校と協議の上決定する。
搬入がある時は、適宜安全対策を講じること。

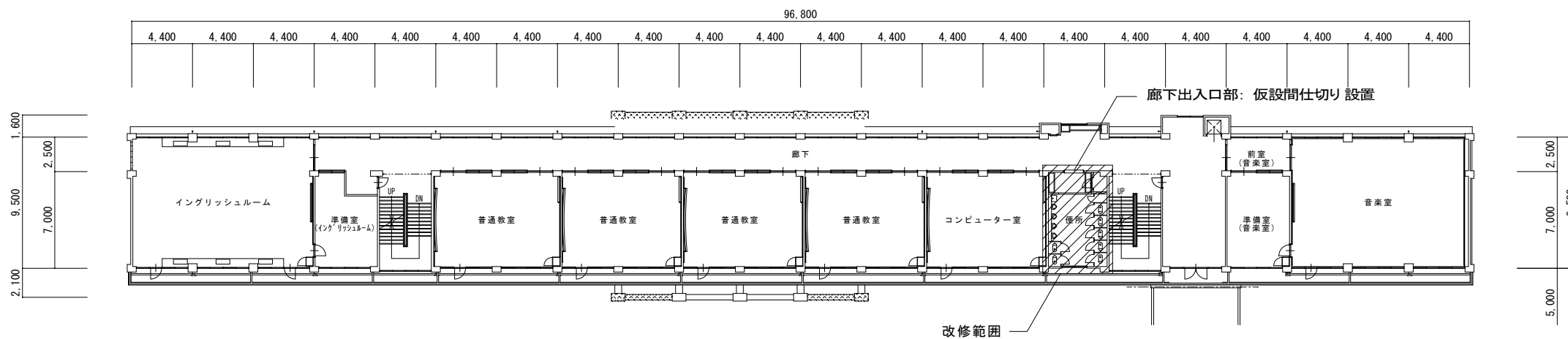
工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事	尺度 図示
図面名称 敷地案内図・配置図・1階平面図	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%
図面No 16	図面No 22
福山市建設局建築部営繕課	



2階平面図 S=1/200



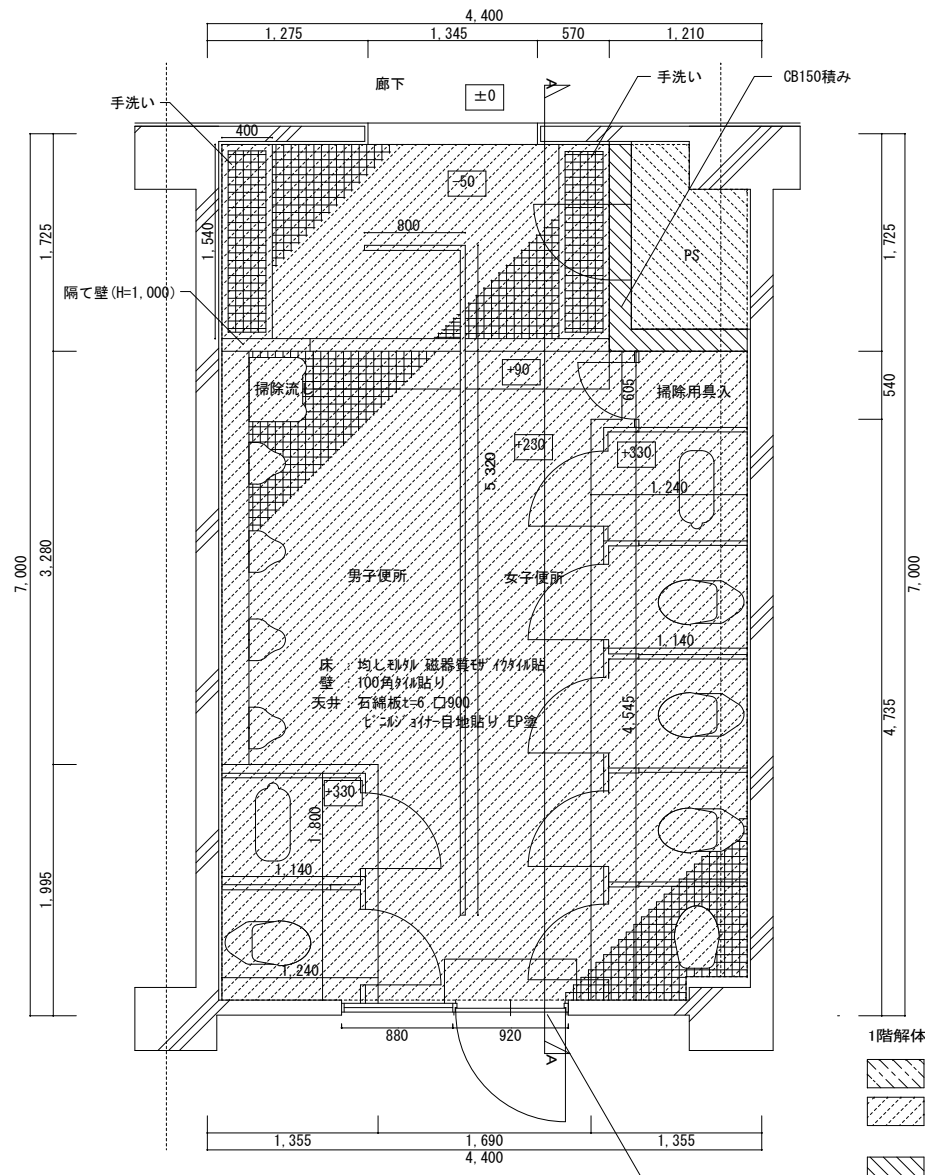
3階平面図 S=1/200



4階平面図 S=1/200

工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事		尺度 図示	
図面名称 2~4階平面図		縮尺率	図面No
福山市建設局建築部営繕課		A1=100%	17
		A2= 71%	
		A3= 50%	

改修前

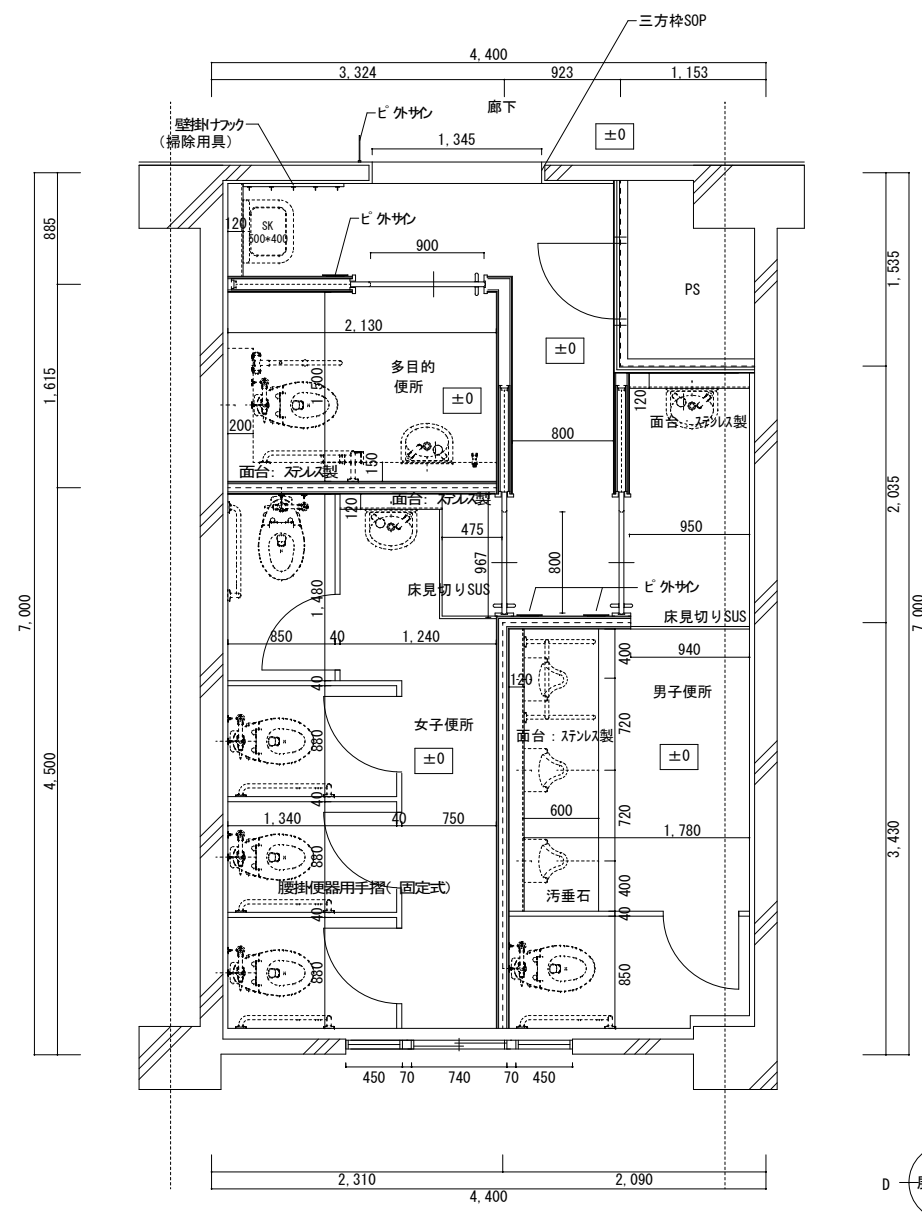


1階平面詳細図(改修前) S=1/30

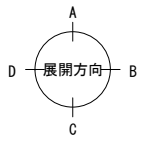
- 1階解体撤去部分
- 土間コンクリート撤去
 - 磁器質モザイクタイル撤去(下地モザイク共)の上、土間コンクリート撤去
 - 既存CB壁撤去の上、土間コンクリート撤去t=120
- 注記) 手洗い・隔て壁・TB・間仕切り壁撤去。
コンクリート及びモザイク面は、カッター切とする。

RC腰壁新設部外部仕上げ: 下地調整(C-2)の上、複層塗材E塗り
(打ち継ぎ目地、ネリクリン系シーリング(PU-2)充填20×10程度)
既存外壁部(柱内々、巾木梁下内): 高圧水洗浄、下地調整(C-1)の上、複層塗材E塗り

改修後



1階平面詳細図(改修後) S=1/30



1階内部仕上表

室名	下地	床		巾木		壁		天井		廻縁	備考	
		仕上	床仕上げレベル	仕上	下地	仕上	下地	天井高				
男子便所	既存	コンクリート	磁器質モザイクタイル張り(撤去、1階のみ下地・土間共)	-100 ~+330	-	タイル	100角タイル貼り	LGS (撤去)	石綿板t=6(石綿みなし含有)	2,400	木製 (撤去)	782天井点検口(撤去)
	改修	コンクリート	土間コンクリート(t=145程度)打設の上、 金銀押へ 防滑性ビニル床シート張り t=2.5 小便器部:汚垂石(セラミックタイルt=5)	±0	床シート巻上げ H100	タイル	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板t=6接着張り PS面:耐水石膏*~t' t21(二重)化粧タイル板t=6張り その他:耐水石膏*~t' t12.5 化粧タイル板t=6張り	LGS	化粧石膏*~t' 張り t=9.5	2,300	塩ビ	ラインク 面台(SUS天板)、小便器前面台(SUS天板) トイレース、小便器用すりすり、L型すりすり クッション込み用782タイル
女子便所	既存	コンクリート	磁器質モザイクタイル張り(撤去、1階のみ下地・土間共)	-100 ~+330	-	タイル	100角タイル貼り	LGS (撤去)	石綿板t=6(石綿みなし含有)	2,400	木製 (撤去)	782天井点検口(撤去)
	改修	コンクリート	土間コンクリート(t=145程度)打設の上、 金銀押へ 防滑性ビニル床シート張り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	タイル	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板t=6接着張り 耐水石膏*~t' t12.5 化粧タイル板t=6張り	LGS	化粧石膏*~t' 張り t=9.5	2,300	塩ビ	ラインク 面台(SUS天板) トイレース、L型すりすり
多目的便所	改修	コンクリート	土間コンクリート(t=145程度)打設の上、 金銀押へ 防滑性ビニル床シート張り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	タイル	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板t=6接着張り 耐水石膏*~t' t12.5 化粧タイル板t=6張り	LGS	化粧石膏*~t' 張り t=9.5	2,300	塩ビ	ラインク 面台(SUS天板) L型すりすり、跳ね上げすりすり
通路 (前室)	既存	コンクリート	磁器質モザイクタイル張り(撤去、1階のみ下地・土間共)	-50	-	タイル	100角タイル貼り	LGS (撤去)	石綿板t=6(石綿みなし含有)	2,350	木製 (撤去)	782天井点検口(撤去)
	改修	コンクリート	土間コンクリート(t=145程度)打設の上、 金銀押へ 防滑性ビニル床シート張り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	タイル	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板t=6接着張り PS面:耐水石膏*~t' t21(二重)化粧タイル板t=6張り その他:耐水石膏*~t' t12.5 化粧タイル板t=6張り	LGS	化粧石膏*~t' 張り t=9.5	2,300	塩ビ	ビニルタイル:タイル製(200×200程度、正面型)3か所 (廊下:タイル製(200×200程度、側面型)1か所)

- ※ 別途工事:衛生器具・照明器具・設備器具(鏡・紙巻器)等の撤去及び新設
- ・ 天井LGS撤去は、天井ハットを除く全てとする
- ・ 既設鉄筋コンクリートのバリは、鉄筋切断面に防錆処理を行う
- ・ 化粧タイル板張りの端部及びジョイント部は、782製ジョイントを使用する
- ・ 手摺、洗面、SK取付部には下地補強を行う

工事名称
福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事

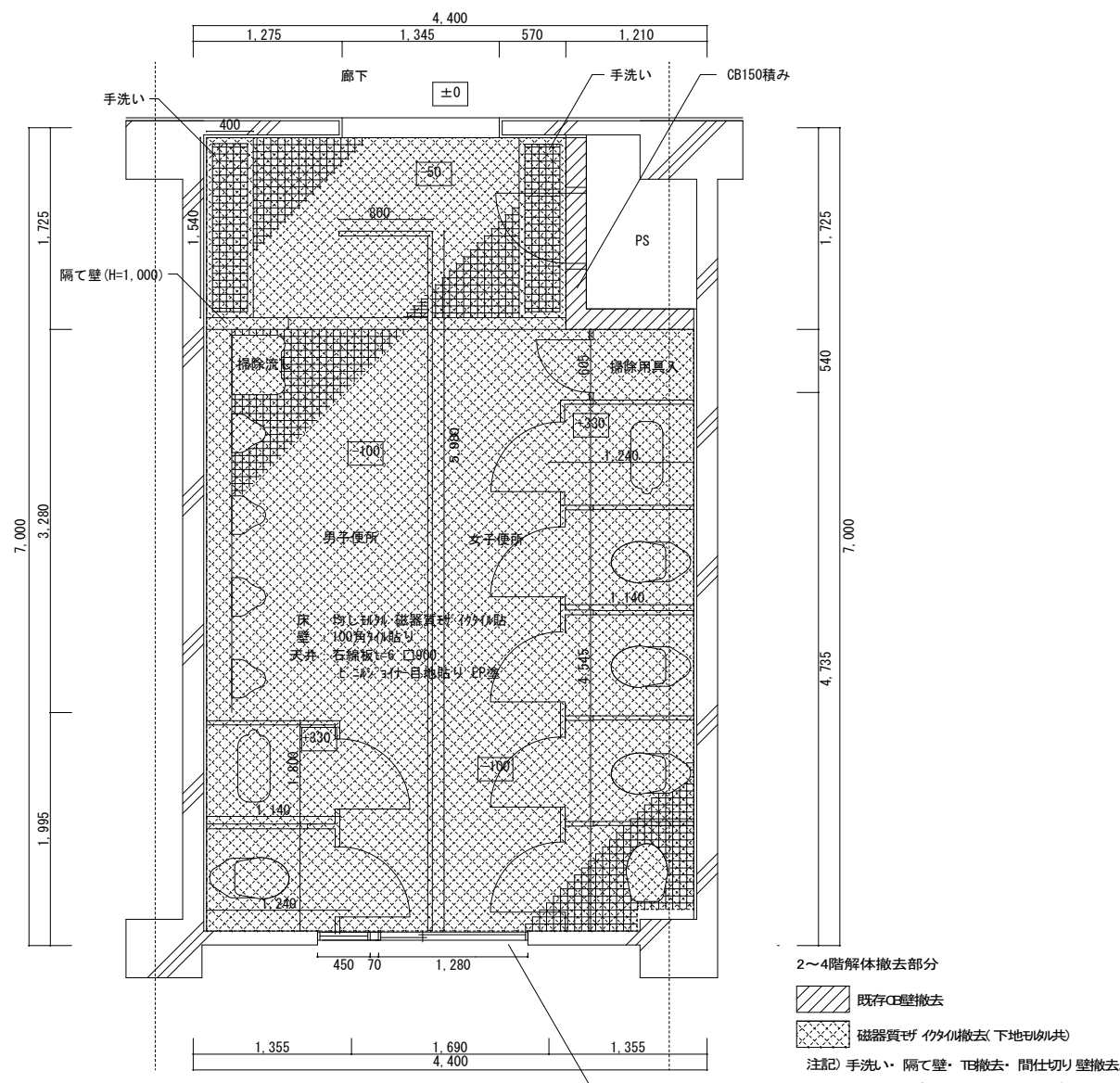
図面名称
1階平面詳細図(改修前・改修後)・仕上表

図面No
18/22

縮尺率
A1=100%
A2= 71%
A3= 50%

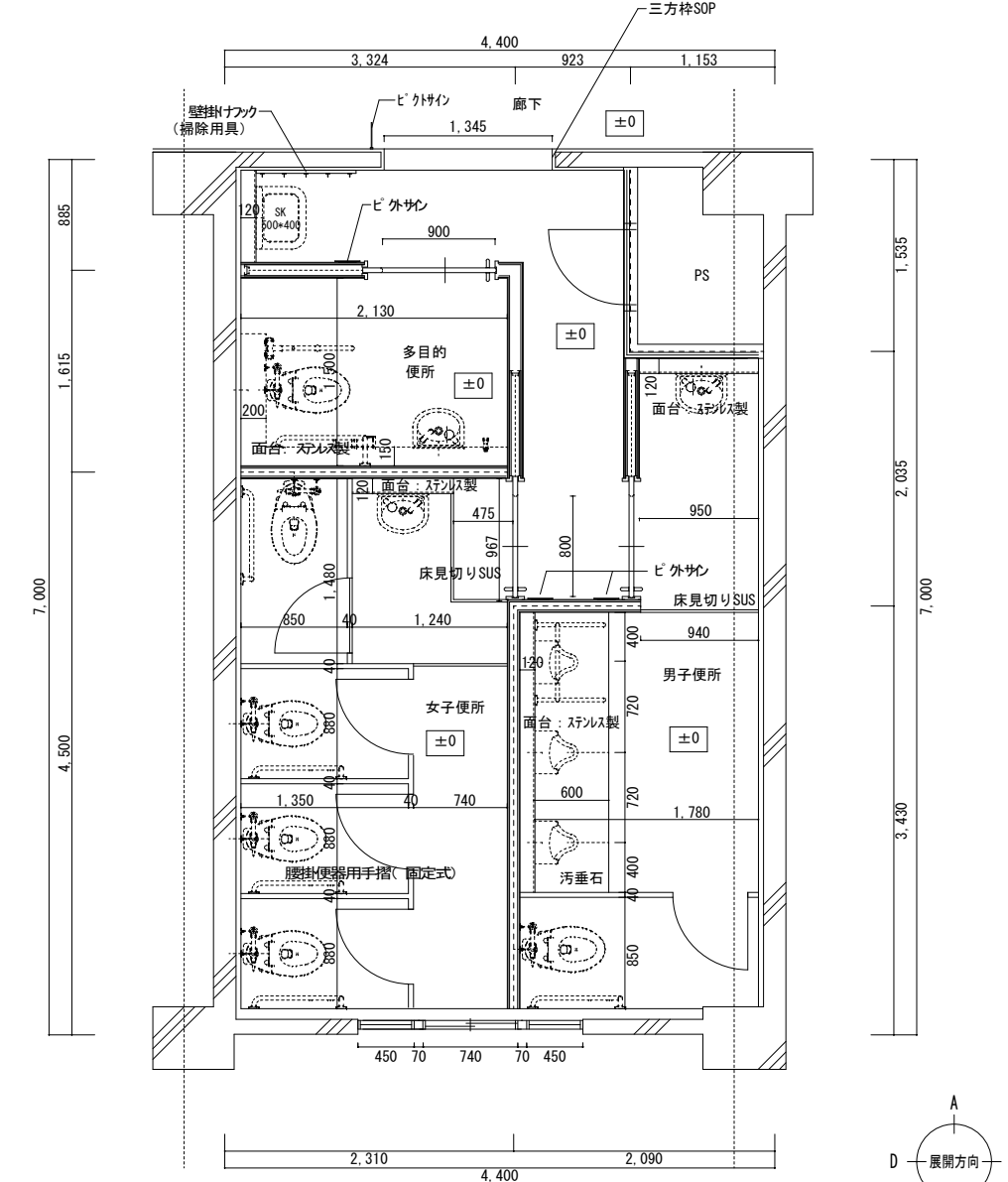
福山市建設局建築部営繕課

改修前



2~4階平面詳細図(改修前) S=1/30

改修後



2~4階平面詳細図(改修後) S=1/30

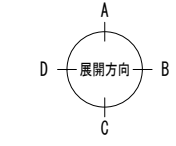
2~4階解体撤去部分
 斜線 既存壁撤去
 磁器質等イタリ撤去(下地あり共)
 注記) 手洗い、隔て壁・TE撤去・間仕切り壁撤去。
 エグレット及びバルコニーは、カッターとする。

既存外壁部(柱内々)：高圧水洗浄、下地調整(C-1)の上、複層塗材E塗り

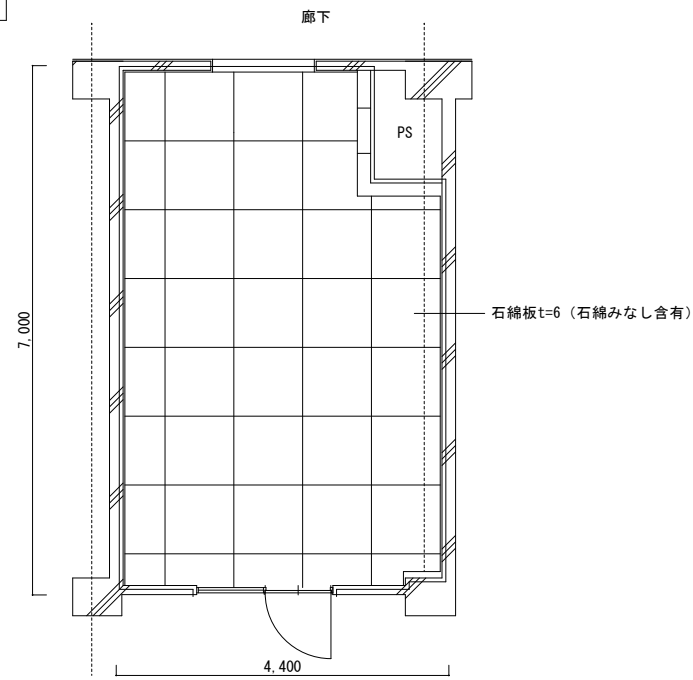
1階内部仕上表

室名	下地	床		巾木		壁		天井		廻縁	備考	
		仕上	床仕上げレベル	仕上	下地	仕上	下地	天井高				
男子便所	既存	コンクリート	磁器質等イタリ張り(撤去、1階のみ下地・土間共)	-100 ~+330	-	タイル	100角タイル貼り	LGS (撤去)	石綿板t=6(石綿みなし含有)	2,400	木製 (撤去)	782天井点検口(撤去)
	改修	コンクリート	コンクリート(t=70~120程度)打設の上、 金銀押へ 防滑性ビニル床シート張り t=2.5 小便器部：汚垂石(セラミックt=5)	±0	床シート巻上げ H100	タイル	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板t=6接着張り PS面：耐水石膏* -t' t21(二重) 化粧タイル板t=6張り その他：耐水石膏* -t' t12.5 化粧タイル板t=6張り	LGS	化粧石膏* -t' 張り t=9.5	2,300	塩ビ	ラインカ'面台(SUS天板)、小便器前面台(SUS天板) トイレ*ス、小便器用すりすり、L型すりすり クッション込み用782パネル
女子便所	既存	コンクリート	磁器質等イタリ張り(撤去、1階のみ下地・土間共)	-100 ~+330	-	タイル	100角タイル貼り	LGS (撤去)	石綿板t=6(石綿みなし含有)	2,400	木製 (撤去)	782天井点検口(撤去)
	改修	コンクリート	コンクリート(t=70~120程度)打設の上、 金銀押へ 防滑性ビニル床シート張り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	タイル	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板t=6接着張り 耐水石膏* -t' t12.5 化粧タイル板t=6張り	LGS	化粧石膏* -t' 張り t=9.5	2,300	塩ビ	ラインカ'面台(SUS天板) トイレ*ス、L型すりすり
多目的便所	改修	コンクリート	コンクリート(t=70~120程度)打設の上、 金銀押へ 防滑性ビニル床シート張り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	タイル	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板t=6接着張り 耐水石膏* -t' t12.5 化粧タイル板t=6張り	LGS	化粧石膏* -t' 張り t=9.5	2,300	塩ビ	ラインカ'面台(SUS天板) L型すりすり、跳ね上げすりすり
通路 (前室)	既存	コンクリート	磁器質等イタリ張り(撤去、1階のみ下地・土間共)	-50	-	タイル	100角タイル貼り	LGS (撤去)	石綿板t=6(石綿みなし含有)	2,350	木製 (撤去)	782天井点検口(撤去)
	改修	コンクリート	コンクリート(t=70~120程度)打設の上、 金銀押へ 防滑性ビニル床シート張り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	タイル	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板t=6接着張り PS面：耐水石膏* -t' t21(二重) 化粧タイル板t=6張り その他：耐水石膏* -t' t12.5 化粧タイル板t=6張り	LGS	化粧石膏* -t' 張り t=9.5	2,300	塩ビ	ビ'外サシ：タイル製(200×200程度、正面型)3か所 (廊下：タイル製(200×200程度、側面型)1か所)

※ 別途工事：衛生器具・照明器具・設備器具(鏡・紙巻器)等の撤去及び新設
 ・ 天井LGS撤去は、天井エグレットを除く全てとする
 ・ 既設鉄筋コンクリートのバリ後は、鉄筋切断面に防錆処理を行う
 ・ 化粧タイル板張りの端部及びジョイント部は、782製ジョイントを使用する
 ・ 手摺、洗面、SK取付部には下地補強を行う



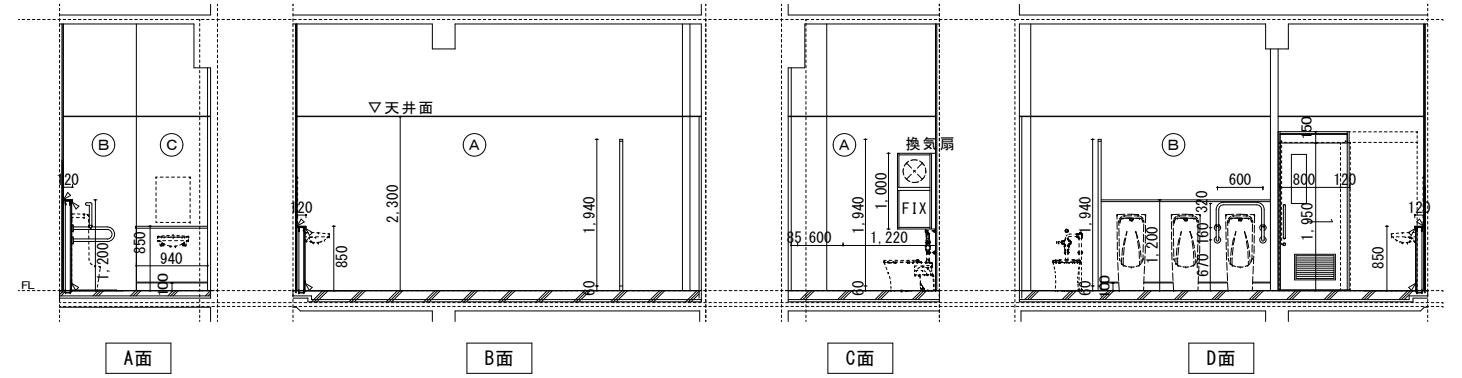
改修前



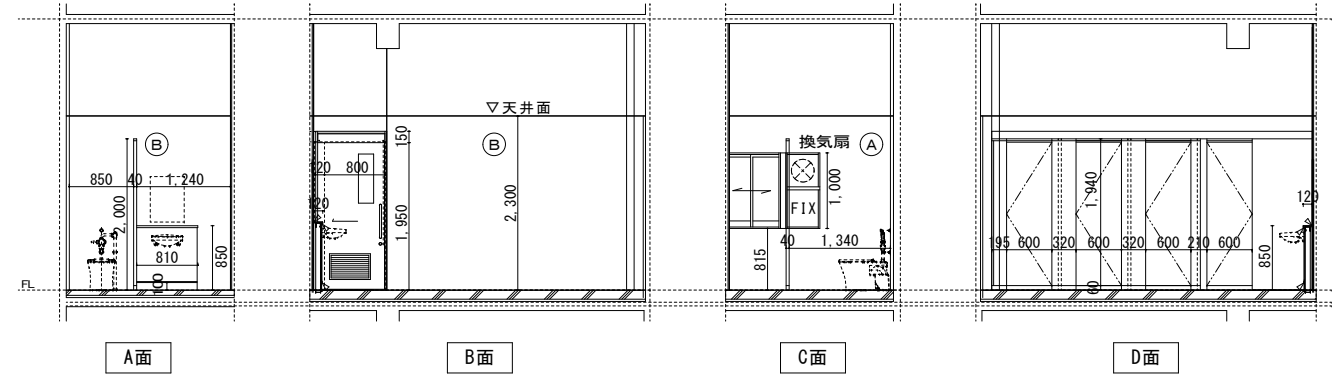
天井伏図(改修前) S=1/50

天井点検口
1階 : 2か所
2階 : 2か所
3階 : 2か所
4階 : 3か所

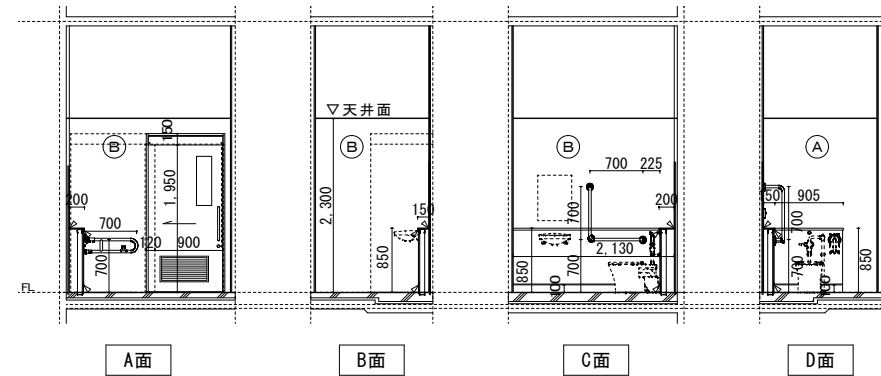
展開図(男子便所) S=1/50



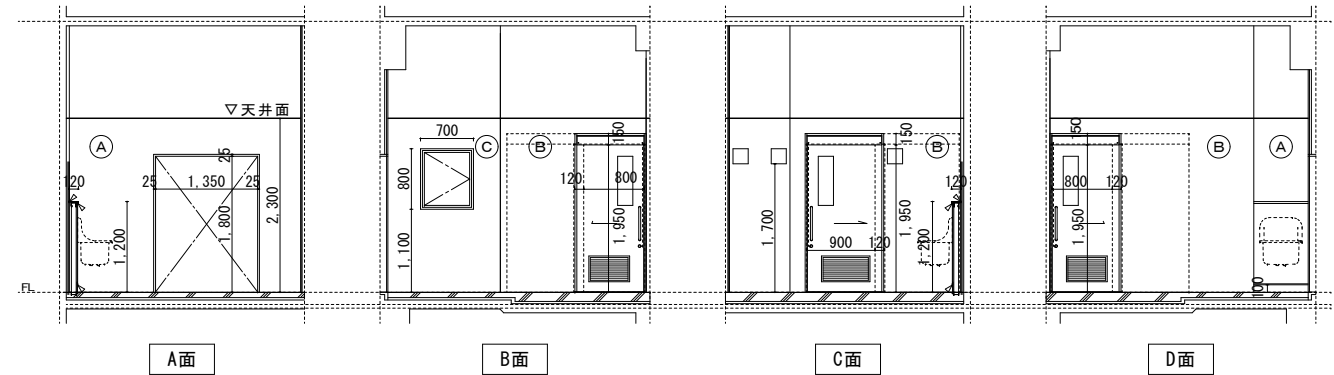
展開図(女子便所) S=1/50



展開図(多目的便所) S=1/50

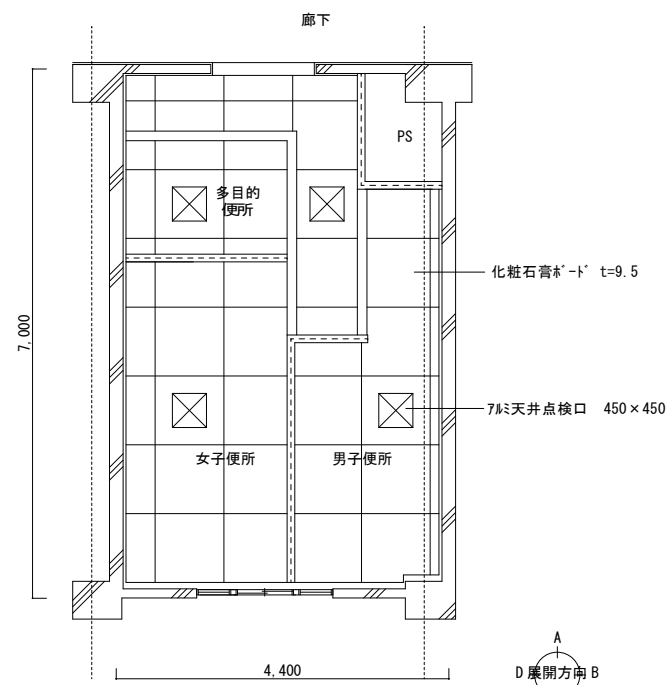


展開図(通路) S=1/50

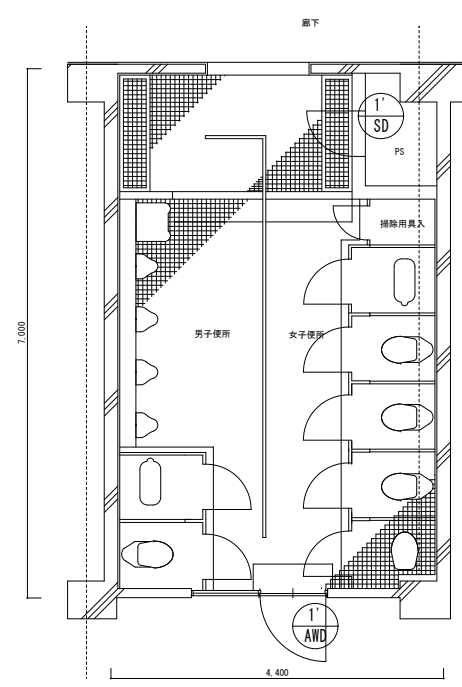


下地	仕上げ
(A) 磁器質タイル	下地調整(ガワ系)の上、化粧タイルt=6張り
(B) LGS	耐水石膏ボードt12.5 化粧タイルt=6張り
(C) LGS	耐水石膏ボードt21(二重) 化粧タイルt=6張り
①	床シート巻上げ H=100

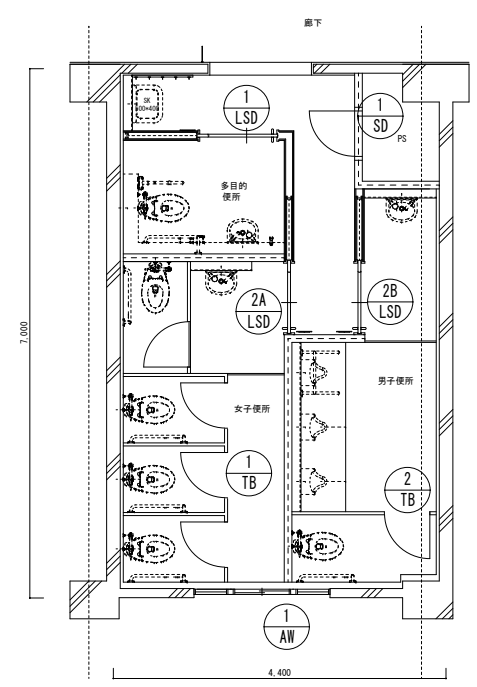
改修後



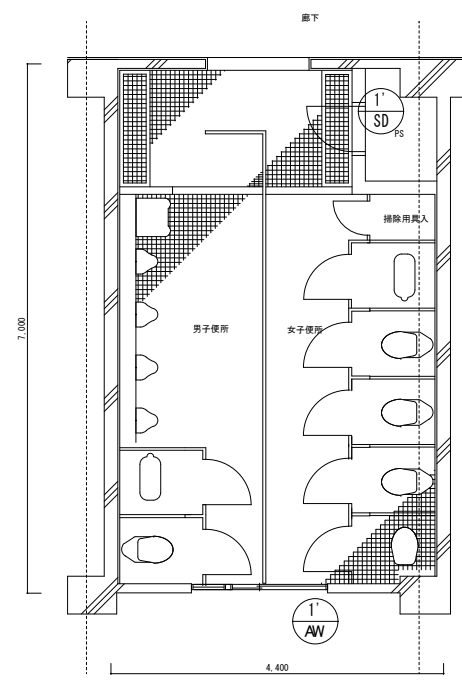
天井伏図(改修後) S=1/50



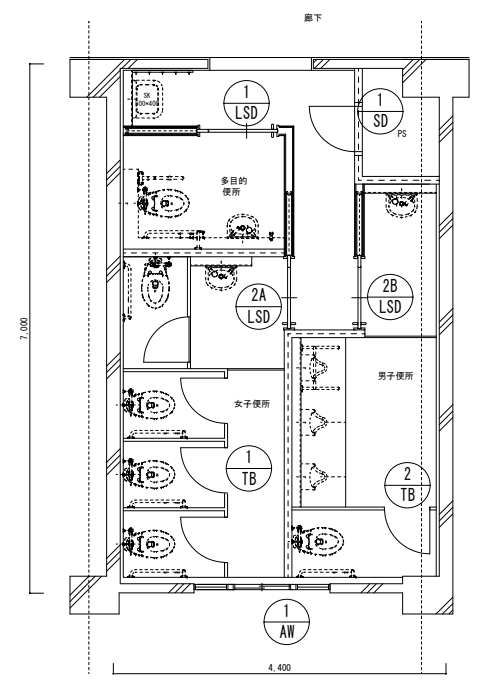
1階建具案内図(改修前) S=1/50



1階建具案内図(改修後) S=1/50



2~4階建具案内図(改修前) S=1/50



2~4階建具案内図(改修後) S=1/50

既存

記号・仕様	①AW 既設(改修) 片開きドア・はめごし窓	①AW 既設(改修) 片引きドア・換気扇付FIX窓	①SD 既設(撤去) 片開きドア
姿図・寸法			
場所・数量	女子便所及び男子便所 1	女子便所及び男子便所 3	パイプシャフト 4
見込・枠形状	70	70	38
硝子	学校型強化硝子4	学校型強化硝子4	
仕上	アルミ(標準色)	アルミ(標準色)	スチール
金物等	ドアチェック他一式	ドアチェック他一式	標準金物一式
記号・仕様	①AW 改修(カバー工法) 引き違い窓・換気扇付FIX窓 (カバー工法)	①SD 新設 片開きドア 特定防火設備(遅延仕様)	①LSD 新設 ボード納まり片引き戸
姿図・寸法			
場所・数量	女子便所及び男子便所 4	パイプシャフト 4	多目的便所 4
見込・枠形状	70	38	枠: 136.5 厚: 38
硝子	学校型強化硝子4+遮熱フィルム		型板硝子4(中抜き)
仕上	アルミ(標準色)	スチール	扉: 化粧鋼板t=0.6 7フツ1 枠: 溶融亜鉛付鋼板t=1.6 SGP
金物等	アルミ水切り アルミ 簡線 標準金物一式	標準金物一式	非常閉鎖、表示付き引戸錠(大型サムターン) SUS引棒L=450 ハンガーレール(傾斜付き・アルミ押出形材) ガラリ 指詰め防止ゴム 上吊車 揺れ止め車 脱輪防止装置 全開時ストッパー エアダンパー 標準金物一式
記号・仕様	②A LSD ②B LSD 新設 ボード納まり片引き戸	①TB 新設 トイレブース	

改修後

記号・仕様	②A LSD ②B LSD 新設 ボード納まり片引き戸	①TB 新設 トイレブース
姿図・寸法		
場所・数量	多目的便所 8	女子便所 4
見込・枠形状	枠: 136.5 厚: 38	40
硝子	型板硝子4(中抜き)	
仕上	扉: 化粧鋼板t=0.6 7フツ1 枠: 溶融亜鉛付鋼板t=1.6 SGP	表面材: 高圧メラミン樹脂化粧板 枠材: MDF 芯材: ベーバーコア
金物等	SUS引棒L=450 ハンガーレール(傾斜付き・アルミ押出形材) ガラリ 指詰め防止ゴム 上吊車 揺れ止め車 脱輪防止装置 全開時ストッパー エアダンパー 標準金物一式 シリンダー錠	中心吊りグレイティヒンジ 表示付きスライドロック(非常閉鎖付き) 戸当り ステンレス巾木 標準金物一式
記号・仕様	②TB 新設 トイレブース	
姿図・寸法		
場所・数量	男子便所 4	
見込・枠形状	40	
硝子		
仕上	表面材: 高圧メラミン樹脂化粧板 枠材: MDF 芯材: ベーバーコア	
金物等	中心吊りグレイティヒンジ 表示付きスライドロック(非常閉鎖付き) 戸当り ステンレス巾木 標準金物一式	

共通事項 (特記なき限り下記仕様とする。)

1. 建具等の見込は、鋼製建具40・鋼製軽量建具36・木製建具40・硝子30・複21とする。
2. クレセント等の高さはFL+1,500以下とする。
3. Fixのガラス割めはシーリング材とする。
4. 遮熱フィルムは、3M NANOシリーズ(基材:PET、基材厚:50μm)同等品とする。

工事名称
福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事

図面名称
建具配置図・建具表(改修前・改修後)

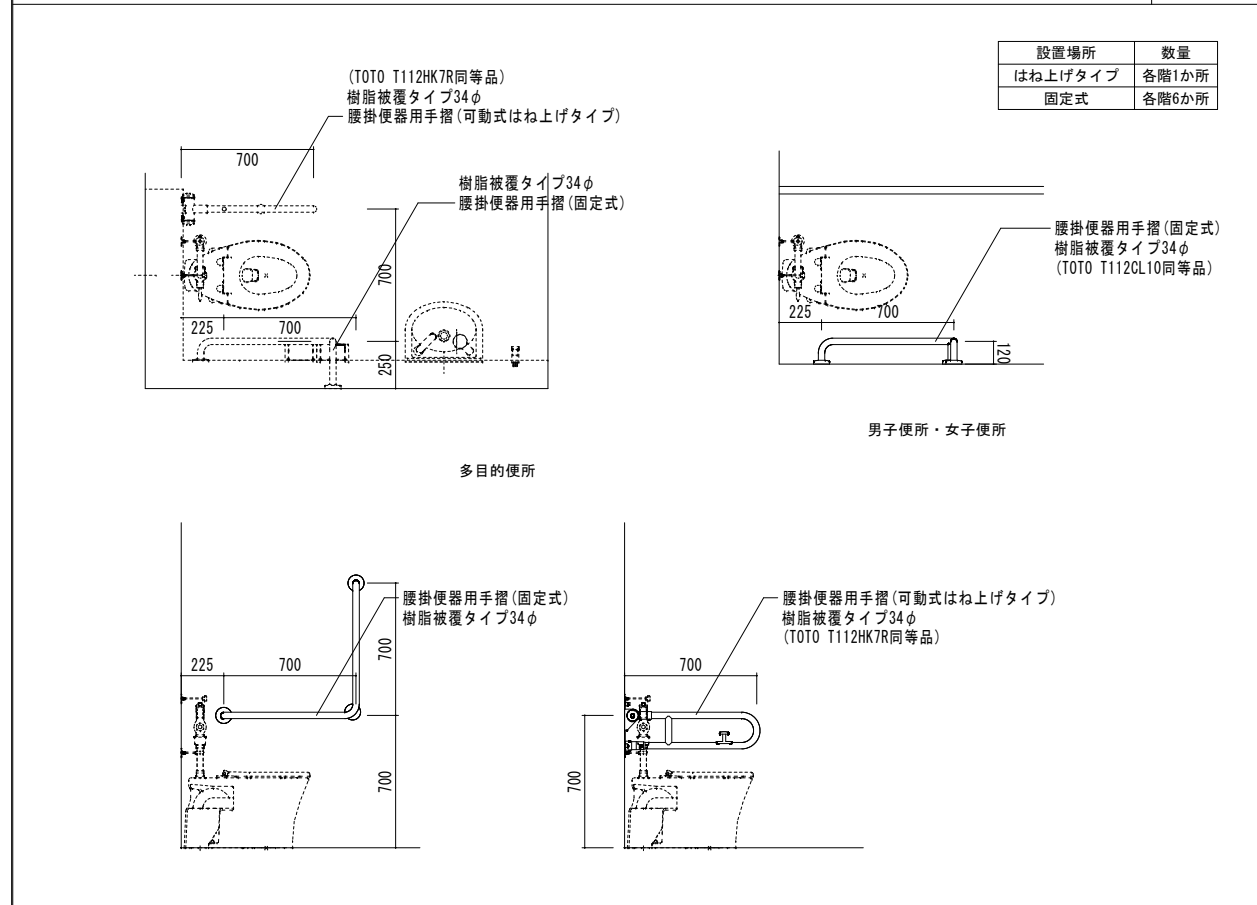
尺度
図示

縮尺率
A1=100%
A2= 71%
A3= 50%

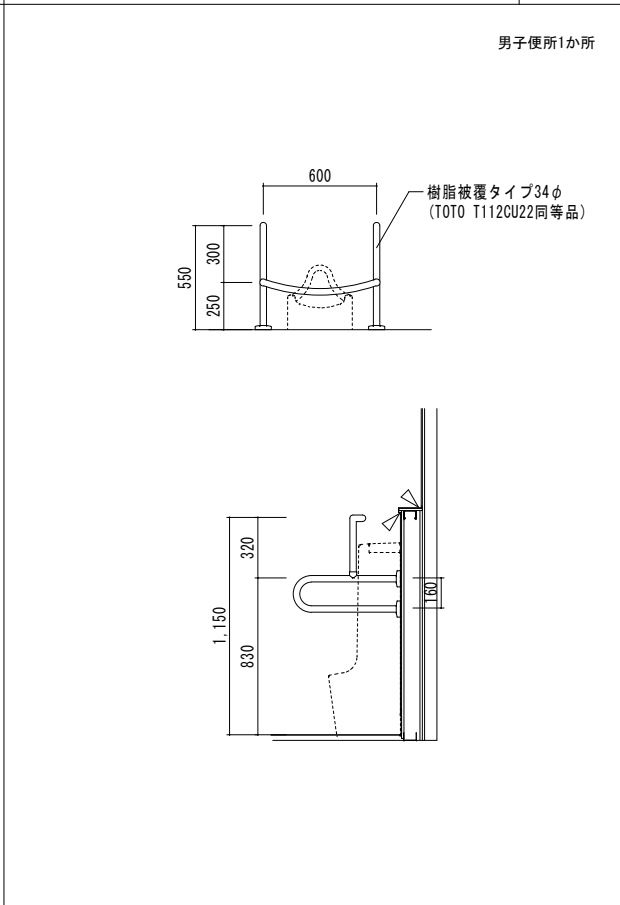
図面No
21/22

福山市建設局建築部営繕課

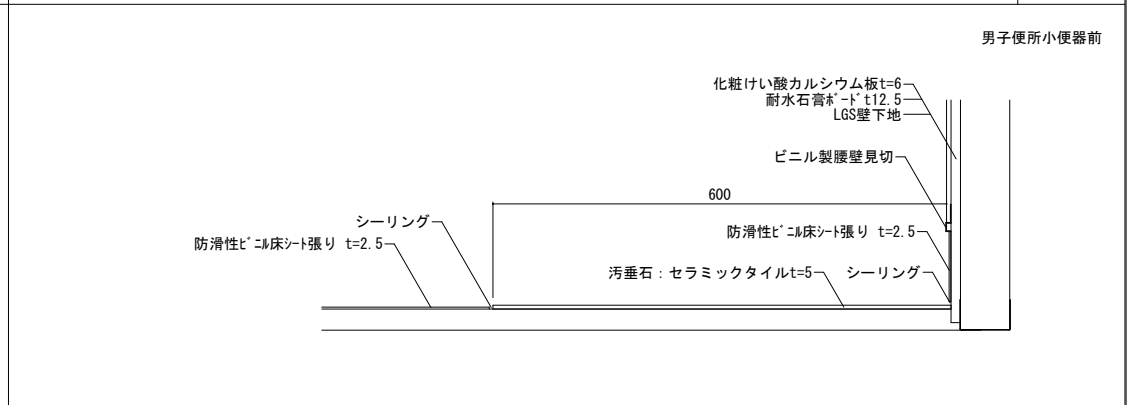
腰掛便器用手摺 S=1/20



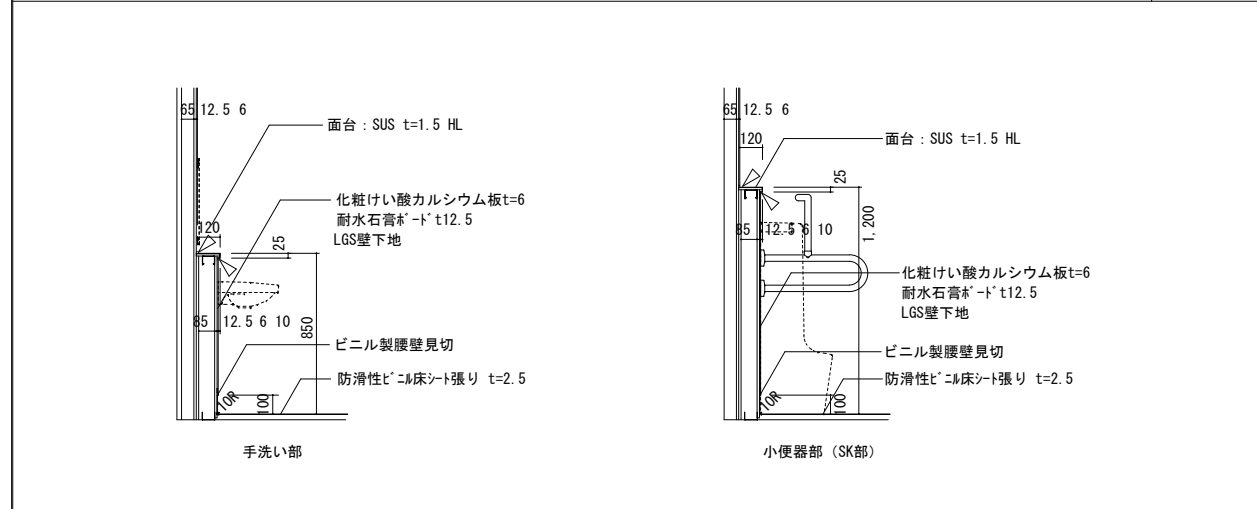
小便器用手摺 S=1/20



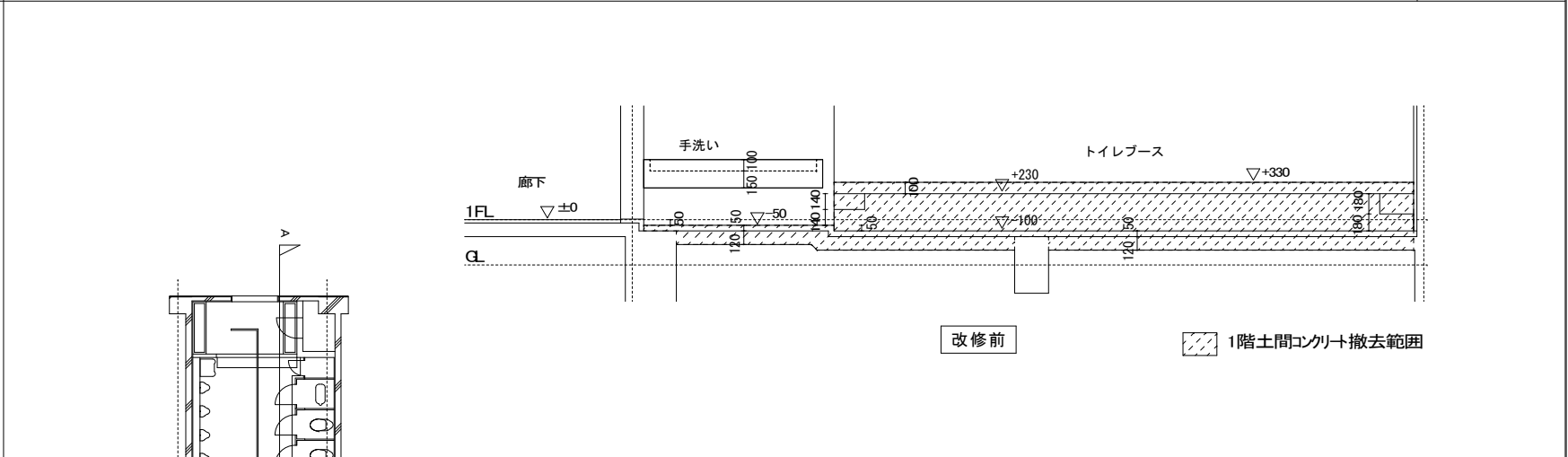
汚垂石 S=1/5



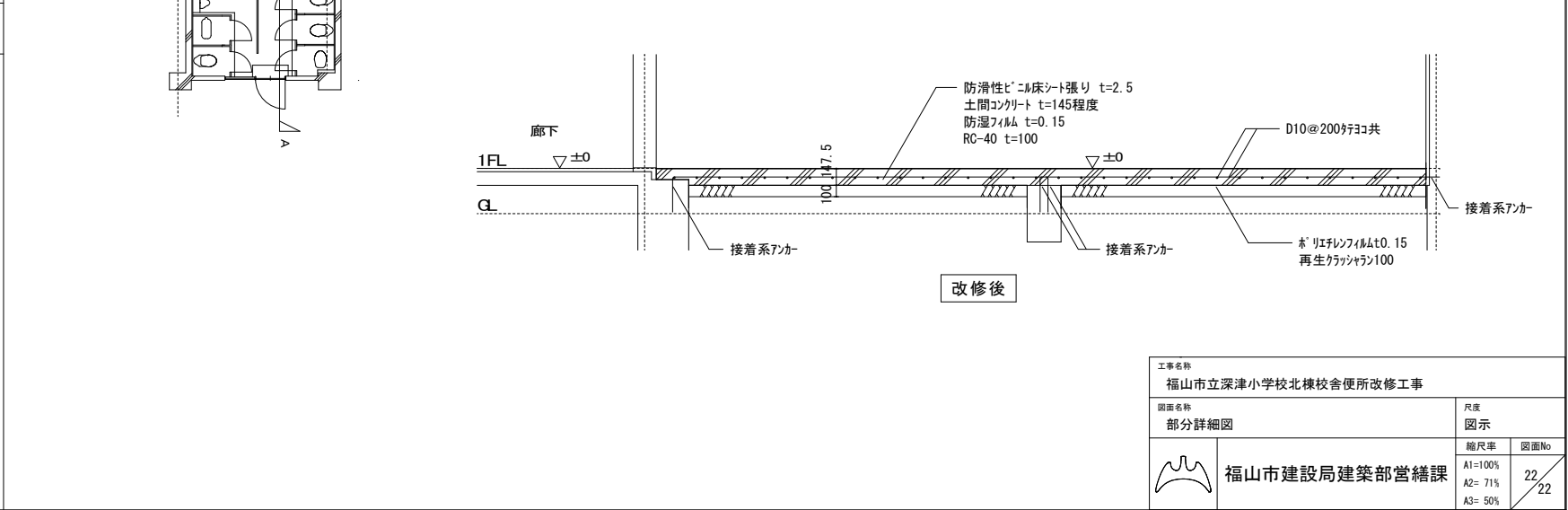
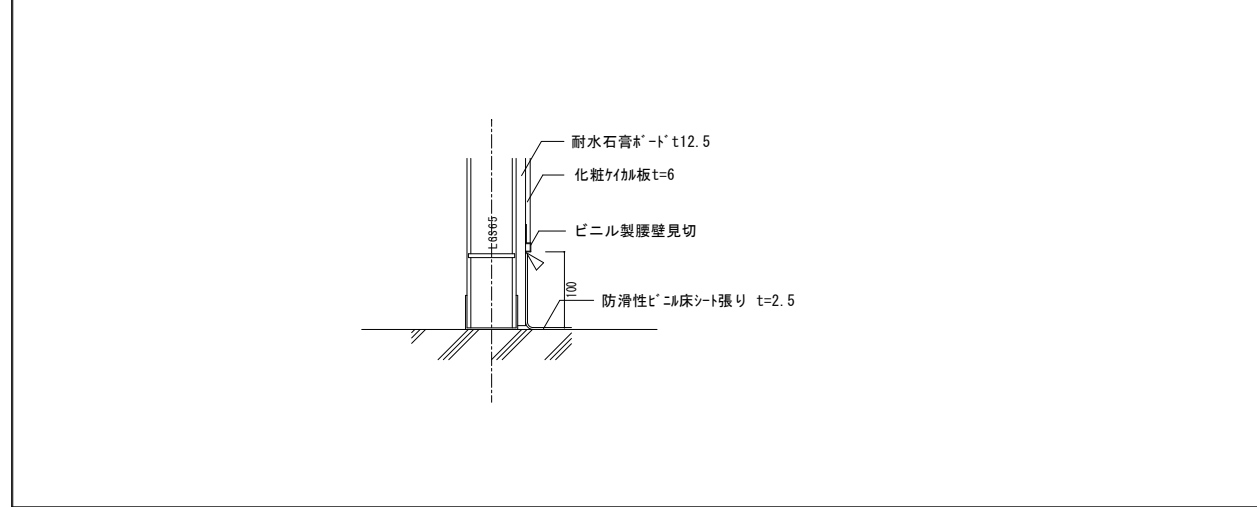
面台 S=1/20




A-A断面図 S=1/30



ビニル床シート巻上 S=1/5



工事名称		福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事	
図面名称		尺度	図示
部分詳細図		縮尺率	図面No
 福山市建設局建築部営繕課	A1=100%	22	22
	A2=71%		
	A3=50%		

参考数量書

§ 工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事

§ 工事場所 福山市東深津町二丁目5番1号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立深津小学校北棟校舎便所改修工事

工事場所 福山市東深津町二丁目5番1号

【工事概要】
便所改修工事 一式

対象建物 北棟校舎
鉄筋コンクリート造 4階建
延べ面積 3,785㎡

【別途工事】
電気設備工事、給排水衛生設備工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
校舎棟	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
改修	1	式		
計				

改修									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
	直接仮設		1		式				
	外壁改修		1		式				
	建具改修		1		式				
	内装改修		1		式				
	塗装改修		1		式				
	躯体改修		1		式				
	環境配慮改修		1		式				
	発生材処理		1		式				
	計								

改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	塗装改修	1	式		
計					
躯体改修	撤去	1	式		
躯体改修	改修	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処理	運搬費	1	式		
発生材処理	処分費	1	式		

改修		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し(内部改修)	複合改修	107	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	107	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	107	㎡			
養生(通路)	搬出入路部分	1	式			
整理清掃後片付け(通路)	搬出入路部分	1	式			
養生(外壁改修)		15	㎡			
整理清掃後片付け(外壁改修)		15	㎡			
内部仕上足場	階高4.0m以下 120日 脚立足場 掛払い手間, 修理費, 運搬費共	107	㎡			
外部仕上足場	階高4.0m以下 15日 脚立足場 掛払い手間, 修理費, 運搬費共	15	㎡			
高所作業車	トラック架装リフト バックet・フレーム型 作業床高 13~14m オペレータ付き	2	日			
計						

改修		外壁改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	2.8	m			
水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	46.7	m ²			
壁 下地調整塗材	C-2 厚1~2mm程度 こて塗り 吹付け下地 コンクリート面	1.7	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ロータ塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	1.7	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ロータ塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費 (C-1) 共	46.7	m ²			
型枠目地棒	打継目地 幅20 × 深さ20程度	1.9	m			
計						

改修		建具改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
711製建具撤去	ガラス共 集積共	8.1	m ²			
計						

改修		建具改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【アルミニウム製建具】						
AW-1(改修)	カバー工法	4	か所			
取付費		1	式			
運搬費		1	式			
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	0.9	m			
【鋼製建具】						
LSD-1(新設)		4	か所			
LSD-2A(新設)		4	か所			
LSD-2B(新設)		4	か所			
取付費		1	式			
運搬費		1	式			
SD-1(新設)		4	か所			
取付費		1	式			
運搬費		1	式			
【ガラス】						
強化型板ガラス 4mm	1.80以下	3.8	m ²			
型板ガラス 4mm	2.18以下	1.6	m ²			
シーリング	シリコン系(SR-1) 10×10	35.2	m			
ガラス清掃		5.4	m ²			
運搬費		1	式			

改修		建具改修			改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
遮熱フィルム		3.8	m ²				
計							

改修		内装改修			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	112	m ²			
床モルタル・床人研ぎ撤去	集積共	1.8	m ²			
CB撤去	コンクリートブレイカ 集積共	6.4	m ³			
パーテーション撤去	集積共	62.2	m ²			
天井下地撤去	集積共	106	m ²			
天井点検口撤去	集積共	9	か所			
トイレブース撤去	集積共	116	m ²			
金物撤去	集積共	1	式			
発生材積込み	コンクリート類 人力	30	m ³			
発生材積込	内装材 人力	13.5	m ³			
計						

改修		内装改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【床】						
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 薄張物下地	106	m ²			
ビニル床シート	柄 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS 熱溶接工法 防滑仕様	95.7	m ²			
ビニル床シート巻上げ幅木	H=100 熱溶接 出隅・入隅処理加算	150	m			
汚垂石	セラミックタイル張り 厚5mm	5.4	m ²			
シーリング	シリコン系(SR-1)防かびタイプ 10×10	11.3	m			
【壁】						
下地状態調査	タイル・モルタル部	156	m ²			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	4.7	m ²			
下地調整 (壁タイル撤去)	材工共	4.7	m ²			
下地調整	材工共	151	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり@450 標準	207	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 出入口等 リップみぞ形鋼補強 片開き(900×2000程度)	12	か所			
壁下地補強	器具取付部 材工共	1	式			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り -	316	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚21 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り -	17.6	m ²			
化粧けい酸カルシウム 板張り	目地処理共	351	m ²			
シーリング	シリコン系(SR-1)防かびタイプ 10×10	213	m			
【天井】						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート別途 標準	104	m ²			

改修		内装改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボート等切込み共	16	か所			
天井化粧 せつこうボード 張り(GB-D)	厚9.5 準不燃 星柄 突付け	104	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	188	m			
【ユニット及びその他】						
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	16	か所			
面台	SUS HL120×25×1.5	4.8	m			
面台	SUS HL150×25×1.5	2	m			
面台	SUS HL200×25×1.5	1.1	m			
床見切り	ステンレス 幅25	9	m			
端部見切材	塩化ビニル製	150	m			
ビクトサイン	平付型200角 アクリル樹脂 材工共	12	か所			
ビクトサイン	突出型200角 アクリル樹脂 材工共	4	か所			
壁掛けフック	4フック 材工共	4	か所			
L型手摺	T112CL1同等品 700×700(H120) 下地補強 材工共	24	か所			
跳ね上げ手摺	T112HK7R同等品 L=700 下地補強 材工共	4	か所			
小便器手摺	T112CU22同等品 下地補強共 材工共	4	か所			
【トイレブース】						
TB-1(新設)	TA40 アルミエッジ マリニ化粧板 巾木 前面パネセット内開き 奥行パネセット	4	か所			
TB-2(新設)	TA40 アルミエッジ マリニ化粧板 巾木 前面パネセット内開き 奥行パネセット	4	か所			
取付費		1	式			

改修		内装改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬費		1	式			
計						

改修		塗装改修		塗装改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S O P 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	19.8	m			
S O P 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	鉄鋼面 工程B種 塗料I種 錆止工程C塗料As種(鉛・ケムフイ-1種) 下地RB種(塗替え面)	58	m			
計						

改修	躯体改修		撤去			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	32.3	m			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカ 集積共	16.3	m3			
計						

改修		躯体改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【地業】						
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	27.6	m ²			
砂利地業	再生クラッシュラン	2.8	m ³			
【鉄筋】						
あと施工アンカー	D10 接着系アンカー	165	本			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.7	t			
鉄筋加工組立	小型構造物	0.7	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.7	t			
【型枠】						
型枠	普通合板型枠	1.7	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	1.7	m ²			
【コンクリート】						
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20 土間、スラブ	12.5	m ³			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S18 粗骨材20 腰壁	0.1	m ³			
構造体強度補正	S=6 Fc 21-15-20 N	12.6	m ³			
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 50m ³ /回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	12.6	m ³			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	30m ³ 以上 50m ³ /回未満	3	回			
コンクリートポンプ 圧送	30m ³ 以上 50m ³ /回未満 基本料金別途加算	12.6	m ³			
計						

改修		環境配慮改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
天井合板・ボード 撤去	一重張り 石綿含有 集積共	106	m ²			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.6	m ³			
計						

改修		発生材処理		運搬費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物運搬費	無筋コンクリート	16.3	m ³			
産業廃棄物運搬費	一般 がれき類	31.3	t			
産業廃棄物運搬費	石綿含有産業廃棄物	1	式			
スクラップ運搬		1.1	t			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	鋼製 H2.0 設置・撤去・賃料・基本料・運搬費 含む 4か月	49.4	m			
キャスターゲート	W6000×H1800 片開き 4か月 架払い手間, 運搬費, 維持管理費共	2	か所			
仮設間仕切り	軽鉄下地 片面合板 施錠付扉	9.7	m ²			
工事中情報共有 システム利用料		1	式			
計						